

愛媛大学埋蔵文化財調査室年報

— 2015年度 —

愛媛大学埋蔵文化財調査室

2017

愛媛大学埋蔵文化財調査室年報

— 2015年度 —

愛媛大学埋蔵文化財調査室

2017

序 文

国立大学法人愛媛大学の敷地は、松山市内および愛媛県内各所に点在し、敷地総面積は 464 ヘクタールに及ぶ。そのうち、大学本部と 5 つの学部が所在する城北団地には文京遺跡・道後廻又遺跡、附属幼稚園・附属小学校・附属中学校・附属特別支援学校がある持田団地には持田遺跡、農学部と附属高等学校がある樽味団地には樽味遺跡、国際交流会館がある鷹子団地では鷹子遺跡など、数多くの遺跡がある。

愛媛大学では、昭和 62 年に埋蔵文化財調査室を設置し、以来校舎建設や営繕工事等の際、埋蔵文化財への影響度をはかるための試掘調査を行い、埋蔵文化財が諸工事で影響を受ける場合には、影響度に応じて全面調査、立会調査の発掘調査を実施してきた。また、大学構内における遺跡の有無や精度の高い分布状況を把握する確認調査を実施している。こうした調査の成果の蓄積を踏まえ、諸工事が埋蔵文化財に及ぼす影響を判断して基盤施設部と協議し、埋蔵文化財への影響を最小限にとどめることに努めている。さらに、調査成果は、公開講座の開催や愛媛大学ミュージアムでの展示で学内外に発信するとともに、年度ごとに埋蔵文化財調査室の実施事業をまとめた年報を刊行し、試掘・立会調査の報告とともに、全面調査の概要、さらに全面調査でも出土遺物が少ない場合には正式報告を行っている。

本書は、2015 年度に埋蔵文化財調査室が実施した立会調査の報告と、文京遺跡 62・63 次調査の正式報告を併せた『埋蔵文化財調査室年報』である。

最後になりましたが、本書をまとめるにあたっては、学内はもとより学外の多くの機関・個人の方々から協力を得ました。その方に深く感謝するとともに、本書が多くの方々に利用・活用されることを願っております。

平成 29 年 3 月 1 日

愛媛大学先端研究・学術推進機構

埋蔵文化財調査室長

田 崎 博 之

例　　言

1. 本書は、愛媛大学埋蔵文化財調査室が2015年度に実施した事業、特に大学構内で実施した試掘・立会・確認形式で行った小規模調査および本格調査の成果等を報告する愛媛大学埋蔵文化財調査室年報であり、愛媛大学埋蔵文化財調査報告XXIIにあたる。
2. 埋蔵文化財調査室では、本格全面調査・構内遺跡確認調査については、遺跡ごとに調査次数を付しているが、同時に、1975年から始まった大学構内の発掘調査まで遡って、立会・試掘形式の小規模調査も含めて、すべての調査に調査番号を与えている。調査番号は、西暦の下3桁の後に年度ごとの調査順に01からの2桁の通し番号を加えた5桁の番号で表示している。調査番号に加えて、複数の地点（トレンチ）を調査した場合、一の後に地点番号を付して表示している。
3. 本書では、遺構番号に冠して、掘立柱建物:SB、堅穴建物:SC、溝:SD、土壤:SK、柱穴・小穴:SP、自然流路:SR、その他の遺構:SXの記号で遺構の種別を表している。
4. 本書で表示した方位・標高数値は、本格調査においては、日本測地系（Tokyo Datum）平面直角座標系第IV系にしたがっている。ただし、試掘・立会調査・確認調査で座標系が利用できなかった場合は、調査地点周囲の平板測量成果を掲載し、磁北を表示している。
5. 小山正忠・竹原秀雄編著（農林水産省農林水産技術会議事務局監修）『新版標準土色帖』に基づき、土色については土色名（Munsell 記号）、遺物の色調については Munsell 記号を省略し、土色名のみで表示している。
6. 本書で使用した遺構図は、柴田昌児・三吉秀充・高木あゆみが作成し墨書きを行った。
7. 本書で使用した遺物図は、柴田が実測・墨書きを行った。
8. 本書で使用した写真は、柴田・三吉が撮影した。
9. 本書は田崎博之・柴田・三吉が執筆した。
10. 本書に報告した調査に係わる記録類・出土遺物は、愛媛大学埋蔵文化財調査室において保管している。
11. 本書は柴田が編集を行った。

本文目次

I	埋蔵文化財小委員会と埋蔵文化財調査室の事業.....	1
1	埋蔵文化財小委員会.....	1
2	2015年度の埋蔵文化財調査室の事業.....	1
(1)	調査と体制.....	1
(2)	整理作業.....	2
(3)	調査報告書・年報の作成作業.....	2
(4)	調査成果の公開・利活用.....	6
II	2015年度の発掘調査.....	13
01501	(城北閉地) 教育学部本館北側外灯設備修繕工事に伴う立会調査.....	13
01502	(持田閉地) 附属幼稚園園舎テラス改修工事に伴う立会調査.....	14
01503	(城北閉地) 図書館西側ユリノキ伐採業務に伴う立会調査.....	14
01504	(持田閉地) 附属幼稚園園舎オイルファーネス撤去工事に伴う立会調査.....	16
01505	(持田閉地) 附属幼稚園園舎排水修繕工事に伴う立会調査.....	18
01506	(持田閉地) 附属小学校プレハブ取設工事に伴う立会調査.....	18
01507	(城北閉地) 愛大ミューズ東側ユリノキ伐採業務に伴う立会調査.....	18
01508	(城北閉地) 城北事務センター南面上屋新設工事に伴う本格調査 (文京62次発掘調査).....	20
01509	(城北閉地) 工学部講義棟東側駐輪場整備工事に伴う本格調査 (文京63次発掘調査).....	23
01510	(樽味閉地) 農学部西側通用門改修その他工事に伴う立会調査.....	38
01511	(樽味閉地) 農学部西側通用門改修その他工事に伴う立会調査.....	40
01512	(城北閉地) 第2体育館自販機設置工事に伴う立会調査.....	43
01513	(城北閉地) 機械系共同実験室101-a 細水管修繕工事に伴う立会調査.....	44
01514	(津田山閉地) プレハブ倉庫取設工事・プレハブ倉庫電源取設工事に伴う立会調査.....	45
01515	(城北閉地) 社会共創学部外部サイン取設工事に伴う立会調査.....	47
III	教員の教育・研究・社会的貢献活動.....	48
IV	愛媛大学埋蔵文化財調査一覧.....	50

挿図目次

図1	城北閉地調査地点位置図 (縮尺1/2000)	9・10	図7	土層断面図 (縮尺1/50)	17
図2	持田閉地調査地点位置図 (縮尺1/2000)	11	図8	01508調査 (文京遺跡62次) 調査区位置図 (縮尺1/500)・調査区平面図 (縮尺1/100)・土層断面図 (縮尺1/50)	21
図3	樽味閉地調査地点位置図 (縮尺1/2000)	12	図9	01509調査 (文京遺跡63次) 愛媛県教育委員会の指示による調査範囲	23
図4	01501・01512調査地点位置図 (縮尺1/500)・土層断面図 (縮尺1/50)	13	図10	01509調査 (文京遺跡63次) 平面図	24
図5	01502・01504・01505・01506調査地点位置図 (縮尺1/500)・土層断面図 (縮尺1/50)	15			
図6	01503・01507調査地点位置図 (縮尺1/500)				

尺1/50)	25-26
図11 01509 調査（文京遺跡63次）Ⅲ層出土遺物（縮尺1/3)	27
図12 01509 調査（文京遺跡63次）遺構平面図（縮尺1/50)	28
図13 文京遺跡におけるⅣ層上面の微起伏復元（外山秀一氏作成、縮尺1/4,500)	30
図14 01510・01511調査 平面図（縮尺1/400）、土層断面図（縮尺1/50)	39
図15 01513 調査地点位置図（縮尺1/500）、土層断面図（縮尺1/50)	45
図16 01514 調査 津田山団地調査地点位置図（縮尺1/1,500）、土層断面図（縮尺1/50)	46
図17 01515 調査地点位置図（縮尺1/500）、土層断面図（縮尺1/50)	47
図18 文京遺跡埋蔵文化財包蔵地の範囲（縮尺1/10,000)	50

写真目次

写真1 復旦大学との交流1	7	写真29 01507調査1トレンチ抜根状況(南東から)	20
写真2 復旦大学との交流2	7	写真30 01507調査2トレンチユリノキ吊り上げ状況(南から)	20
写真3 公開講座の様子1	7	写真31 01507調査2トレンチ抜根状況(南から)	20
写真4 公開講座の様子2	7	写真32 文京遺跡62次調査1トレンチSR-1完掘状況(北から)	22
写真5 公開講座の様子3	7	写真33 文京遺跡62次調査1トレンチ東壁土層断面	22
写真6 公開講座の様子4	7	写真34 文京遺跡62次調査2トレンチSR-1完掘状況(西から)	22
写真7 公開講座の様子5	8	写真35 文京遺跡62次調査2トレンチSR-1完掘状況(南西から)	22
写真8 公開講座の様子6	8	写真36 文京遺跡62次調査2トレンチ西端完掘状況(西から)	22
写真9 スポット展示I「交流の記憶」1	8	写真37 文京遺跡62次調査2トレンチ西端完掘状況(南から)	22
写真10 スポット展示I「交流の記憶」2	8	写真38 文京遺跡63次調査 管路検出状況(南から)	31
写真11 スポット展示II「戦争の記憶」1	8	写真39 文京遺跡63次調査 管路検出状況(北から)	31
写真12 スポット展示II「戦争の記憶」2	8	写真40 文京遺跡63次調査 遺構検出状況(南から)	31
写真13 スポット展示III「食の記憶」1	8	写真41 文京遺跡63次調査 遺構検出状況(北西から)	31
写真14 スポット展示III「食の記憶」2	8	写真42 文京遺跡63次調査 遺構検出状況(北西から)	31
写真15 01501調査地点近景(西から)	14	写真43 文京遺跡63次調査 遺構完掘状況(南から)	32
写真16 01501調査地点掘削状況(西から)	14		
写真17 01502調査地点全景(北西から)	14		
写真18 01502調査地点掘削状況(北西から)	14		
写真19 01503調査地点全景(北から)	16		
写真20 01503調査地点ユリノキ吊り上げ状況(北から)	16		
写真21 01504調査地点掘削状況(北東から)	16		
写真22 01505調査1トレンチ(西から)	19		
写真23 01505調査2トレンチ(西から)	19		
写真24 01505調査3トレンチ東側(東から)	19		
写真25 01505調査3トレンチ西側(南から)	19		
写真26 01506調査地点全景(東から)	19		
写真27 01506調査地点掘削状況(北東から)	19		
写真28 01507調査1トレンチユリノキ吊り上げ状況(南から)	20		

写真 44	文京遺跡 63 次調査 遺構完掘状況（北から）	32	写真 66	深掘り状況（西から）	37
写真 45	文京遺跡 63 次調査 調査区南側遺構完掘状況（北西から）	33	写真 66	文京遺跡 63 次調査 遺構掘削状況（北西より）	37
写真 46	文京遺跡 63 次調査 調査区北側遺構完掘状況（西から）	33	写真 67	文京遺跡 63 次調査 IV層確認作業（北東から）	37
写真 47	文京遺跡 63 次調査 調査区中央遺構完掘状況（西から）	33	写真 68	文京遺跡 63 次調査 IV層掘削作業（南より）	37
写真 48	文京遺跡 63 次調査 調査区北側遺構完掘状況（南西から）	33	写真 69	文京遺跡 63 次調査 IV層掘削作業（北西より）	37
写真 49	文京遺跡 63 次調査 調査区南側遺構完掘状況（南西から）	33	写真 70	文京遺跡 63 次調査 IV層掘削作業（北より）	38
写真 50	文京遺跡 63 次調査 調査区東壁断面 a-b ライン（北西から）	34	写真 71	文京遺跡 63 次調査 IV層下位掘削作業（北西より）	38
写真 51	文京遺跡 63 次調査 調査区東壁断面 a-b ライン（西から）	34	写真 72	文京遺跡 63 次調査 III層出土遺物	38
写真 52	文京遺跡 63 次調査 調査区南壁断面 c-d ライン（南西から）	34	写真 73	文京遺跡 63 次調査 IV-1 層出土遺物	38
写真 53	文京遺跡 63 次調査 調査区南壁断面 c-d ライン（北から）	34	写真 74	01510 調査 1 トレンチ（北東から）	40
写真 54	文京遺跡 63 次調査 断面 e-f ライン（南東から）	34	写真 75	01510 調査 1 トレンチ拔根状況（東から）	40
写真 55	文京遺跡 63 次調査 断面 e-f ライン（北東から）	35	写真 76	01510 調査 2 トレンチ（北東から）	40
写真 56	文京遺跡 63 次調査 断面 g-h ライン（南東から）	35	写真 77	01510 調査 2 トレンチ拔根状況（北東から）	40
写真 57	文京遺跡 63 次調査 断面 g-h ライン（南から）	36	写真 78	01511 調査 1 ~ 7 トレンチ全景（南東から）	41
写真 58	文京遺跡 63 次調査 断面 g-h ライン深掘り（南から）	36	写真 79	01511 調査 1 トレンチ（東から）	41
写真 59	文京遺跡 63 次調査 断面 i-j ライン（南から）	36	写真 80	01511 調査 2 トレンチ（東から）	41
写真 60	文京遺跡 63 次調査 断面 i-j ライン（南東から）	36	写真 81	01511 調査 3 トレンチ（東から）	41
写真 61	文京遺跡 63 次調査 調査区南側IV層下位検出状況（西から）	36	写真 82	01511 調査 4 トレンチ（東から）	41
写真 62	文京遺跡 63 次調査 調査区南側IV層下位深掘り状況（北から）	36	写真 83	01511 調査 5 トレンチ（東から）	41
写真 63	文京遺跡 63 次調査 調査区南側IV層下位深掘り状況（南から）	36	写真 84	01511 調査 6 トレンチ（東から）	42
写真 64	文京遺跡 63 次調査 IV層下位堆積状況（北から）	36	写真 85	01511 調査 7 トレンチ（東から）	42
写真 65	文京遺跡 63 次調査 調査区南側IV層下位		写真 86	01511 調査 8 トレンチ（西から）	42
			写真 87	01511 調査 8 トレンチ（南から）	42
			写真 88	01511 調査 8 トレンチ（南西から）	42
			写真 89	01511 調査 8 トレンチ（北西から）	42
			写真 90	01511 調査 8 トレンチ AB 地点（南から）	42
			写真 91	01511 調査 8 トレンチ C 地点（西から）	42
			写真 92	01511 調査 8 トレンチ C 地点（南から）	43
			写真 93	01511 調査 8 トレンチ南北地点（東から）	43
			写真 94	01512 調査地点全景（北東から）	43

写真 95	01512 調査地点（北から）……………	43	写真 103	01514 調査 A 地点土層断面（南から）・	46
写真 96	01512 調査地点掘削状況（北東から）…	43	写真 104	01514 調査 B 地点土層断面（北西から）	46
写真 97	01513 調査地点（北東から）……………	44	写真 105	01515 調査地点（東から）……………	47
写真 98	01513 調査地点全景（北東から）…………	44	写真 106	01515 調査地点掘削状況（西から）…	47
写真 99	01513 調査地点北部掘削状況（西から）	44			
写真 100	01513 調査地点南部掘削状況（北から）	44			
写真 101	01514 調査地点（東から）……………	46			
写真 102	01514 調査地点（南から）……………	46			

表 目 次

表1	2015年度の埋蔵文化財小委員会……………	4	表4	2015年度調査室・調査室資料利用一覧……	4
表2	埋蔵文化財調査室の体制……………	4	表5	2015年度の埋蔵文化財調査依頼・照会一覧…	5
表3	2015年度発掘調査一覧……………	4	表6	愛媛大学埋蔵文化財調査一覧……………	51

資 料 目 次

資料1	愛媛大学先端研究・学術推進機構学術研究会 議理蔵文化財小委員会内規……………	2	資料2	愛媛大学埋蔵文化財調査室規程……………	3
-----	---	---	-----	---------------------	---

I 埋蔵文化財小委員会と埋蔵文化財調査室の事業

1 埋蔵文化財小委員会

埋蔵文化財調査室は、「愛媛大学先端研究・学術推進機構 学術研究会議 埋蔵文化財小委員会内規」(資料1)で設置された埋蔵文化財小委員会の下、「愛媛大学埋蔵文化財調査室規程」(資料2)に基づき、発掘調査実施計画の立案およびその実施、出土資料の整理・保管、報告書作成と調査成果の公開・利活用、本学における教育・研究の支援業務を行っている。

2015年度の埋蔵文化財小委員会(以下、小委員会とする)の体制は表1の通りである。2015年度の小委員会は、2015年5月27日に開催された。

小委員会では、報告1 埋蔵文化財小委員会の構成について、議題1. 平成26年度事業報告、議題2. 平成26年度決算、議題3. 平成27年度事業計画、議題4. 平成27年度予算案、議題5. 埋蔵文化財調査室の中期計画、議題6. その他について審議された。

報告1に関して、田崎委員から、平成27年度の埋蔵文化財小委員会の構成(表1)について報告があった。

議題1に関して、柴田委員から、平成26年度の事業報告があり、審議の結果、異議なく了承された。議題2に関して、三吉委員から、決算資料に基づいての説明があった。審議の結果、異議なく了承された。

議題3に関して、柴田委員より、事業計画案に基づ

いて、1. 発掘調査、2. 整理作業、3. 調査報告書・年報の刊行、4. 利活用に係る業務について説明があり、種々審議の結果、異議なく了承された。

議題4について、三吉委員より、予算案に基づく詳細な説明があり、審議の結果、異議なく了承された。

議題5に関して、田崎委員より、平成6~9年度に実施した文京遺跡12・14・16次調査にかかる調査報告書の刊行について説明があった。16次調査は2013年度に完了している。現在刊行に向けて準備を進めている12・14・16次調査については、大部が予想される報告書の印刷費圧縮のため、編集ソフトを利用しながら、報告書の原稿入稿までの作業を継続して進みたい旨の提案があり、異議なく了承された。

議題6について、田崎委員より、文京遺跡12・16次調査の報告書刊行に向けた整理作業で明らかになつた朝鮮系無紋土器の意義について、マスコミ発表を行う旨の説明があった。また、城北キャンパス東側圍壁改修に伴い出土品を保管している統合車庫が解体されるため、出土品保管スペースを確保する必要性があることについての説明があり、今後、委員長と相談したうえで対応を検討することとした。

以上の審議結果は、学術研究会議に報告することになった。

2 2015年度の埋蔵文化財調査室の事業

(1) 調査と体制

2015年度の埋蔵文化財調査室の体制は表2の通りである。

埋蔵文化財調査室では、愛媛大学構内における掘削を伴う土木工事に際して、試掘調査の成果や周辺における既往の調査成果から埋蔵文化財の影響を判断し、保護・調査・記録保存を行っている。2004年度、国立大学法人愛媛大学発足以降、愛媛県教育委員会・松山市教育委員会と協議を重ね、2007年度から、周知の埋蔵文化財包蔵地において、文化財保護法第93条に基づき、規模の大小に関わらず、工事着手日の60日前までに、土木工事届を提出している。この土木工事

届に対する愛媛県教育委員会の通知に基づき、発掘調査・工事立会・慎重工事を行っている。また、周知の埋蔵文化財包蔵地とされていない圃地でも、遺跡が存在しないというわけではなく、松山市教育委員会から愛媛大学による主体的な工事立会や確認調査の実施が求められている。

2015年度における埋蔵文化財に対する影響への確認と調査依頼は25件であった(表5)。これに対して、埋蔵文化財への影響を判断し、意見書として提出、土木工事届等の所要の手続きを経た上で、2件について発掘調査を行った(表3)。なお、埋蔵文化財調査室では、発掘調査の規模に応じて、大規模調査と小規模

資料1 愛媛大学先端研究・学術推進機構学術研究会議埋蔵文化財小委員会内規

(趣旨)

第1条 この内規は、愛媛大学先端研究・学術推進機構学術研究会議規程第7条第1項の規定に基づき、愛媛大学先端研究・学術推進機構学術研究会議に置く愛媛大学先端研究・学術推進機構学術研究会議埋蔵文化財小委員会（以下「小委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 小委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 愛媛大学先端研究・学術推進機構埋蔵文化財調査室（以下「調査室」という。）の運営に係る基本事項に関すること。
- (2) 調査室の予算及び決算に関すること。
- (3) 愛媛大学の施設整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (4) 愛媛大学の埋蔵文化財の保護に係る重要な事項に関すること。
- (5) その他調査室の運営に関すること。

(組織)

第3条 小委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 愛媛大学先端研究・学術推進機構長（以下「機構長」という。）
- (2) 調査室長
- (3) 調査室の専任教員
- (4) 関連学部等の専任教員 若干人
- (5) 研究支援部長及び施設基盤部長
- (6) その他委員長が必要と認めた者

2 前項第4号の委員は、当該教員の所属する当該学部等の長の推薦に基づき、機構長が委嘱する。

3 第1項第4号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 小委員会に委員長を置き、機構長をもって充てる。

2 委員長は、小委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

(議事)

第5条 小委員会は、委員の過半数が出席しなければ議事を聞くことができない。

2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、説明又は意見を聞くことができる。

(事務)

第7条 小委員会に関する事務は、研究支援部研究支援課及び施設基盤部施設企画課において処理する。

(離則)

第8条 この規程に定めるものほか、小委員会の運営に関し必要な事項は、小委員会が定める。

附 則 この内規は、平成26年4月10日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

調査に分類している。大規模調査は城北団地で1件である。小規模調査は城北団地で1件である。その他に、工事立会を13件実施した。

(2) 整理作業

年報ならびに報告書刊行に向けて、文京遺跡12次調査、文京遺跡14次調査の遺物実測・写真撮影作業、2013年度に調査を実施した文京遺跡58・61次調査、樽味遺跡14・15次調査、持田遺跡10次調査、立会調査で出土した遺物の注記・復元作業、遺物台帳作成作業、実測・写真撮影作業、遺構実測図のデジタル化・レース作業・写真的整理作業を行った。また、文京遺

跡60次調査で採取した土壌試料について、顕微鏡観察による微細堆積相解析、土層中に含まれる鉱物・有機物の分析、動植物遺体の同定、イネの放射性炭素年代測定を委託した。加えて、発掘調査記録のデジタル化を進めた。

(3) 調査報告書・年報の作成作業

2014年度の実施事業と、実施した全面調査の正式報告・概要報告と小規模調査・立会調査などの報告をまとめた『埋蔵文化財調査室年報－2014年度－』（愛媛大学埋蔵文化財調査報告XXIX）を刊行した。同年報では、文京遺跡58・59・61次調査、樽味14・15次

資料2 愛媛大学埋蔵文化財調査室規程

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人愛媛大学基本規則第30条第2項の規定に基づき、愛媛大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 調査室は、国立大学法人愛媛大学（以下「本学」という。）の敷地内の施設整備に伴う埋蔵文化財の調査研究を行うとともに、出土した埋蔵文化財を記録、保存及び活用し、もって本学の教育研究における学術的・社会的責務を果たすことを目的とする。

(業務)

第3条 調査室は、本学の敷地内の施設整備に伴う埋蔵文化財の調査研究に関する次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 実施計画の立案及び実施に関すること。
- (2) 遺物の整理及び保管に関すること。
- (3) 報告書の作成に関すること。
- (4) 出土埋蔵文化財及び調査成果の公開及び利活用に関すること。
- (5) 本学の学生及び教員への実践的な教育及び研究の支援に関すること。
- (6) その他埋蔵文化財の調査研究に必要な事項

(組織)

第4条 調査室に、次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) 室長
- (2) 専任教員
- (3) 兼任教員
- (4) その他必要な職員（以下「調査室職員」という。）

(学術研究会議)

第5条 調査室の業務に関する重要な事項は、愛媛大学先端研究・学术推進機構学術研究会議（以下「学術研究会議」という。）において審議する。

(室長)

第6条 室長候補者は、本学の専任の教授のうちから、学術研究会議が推薦し、学長が選考する。

2 室長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、室長に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(専任教員)

第7条 専任教員は、学術研究会議が推薦し、国立大学法人愛媛大学人事委員会の議を経て、学長が選考する。

(兼任教員)

第8条 兼任教員は、本学の専任教員のうちから、室長が当該教員の所属する部局等の長の同意を得て推薦し、学長が任命する。

2 兼任教員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、兼任教員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(職務)

第9条 室長は、調査室の業務を掌理する。

2 専任教員は、室長の職務を助け、調査室の業務を遂行する。

3 兼任教員は、調査室の専任教員とともに調査室の業務を遂行する。

4 調査室職員は、調査室の業務に従事する。

(専門員)

第10条 調査室に、必要に応じて、埋蔵文化財の調査研究に関し、それぞれの専門分野から特別な知識及び技術について協力及び助言を得るため、専門員を置くことができる。

2 専門員に申し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第11条 調査室に関する事務は、施設基盤部施設企画課及び研究支援部研究支援課において処理する。

(隣同)

第12条 この規程に定めるもののほか、調査室に申し必要な事項は、別に定める。

附則

1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

2 国立大学法人愛媛大学埋蔵文化財調査室設置要領（平成16年規則第19号）は、廃止する。

3 国立大学法人愛媛大学埋蔵文化財調査室設置要領（平成16年4月1日制定）は、廃止する。

表1 2015年度の埋蔵文化財小委員会

先端研究・学術基盤機構学術研究会議埋蔵文化財小委員会			
氏名	所属	備考	
委員長 宇野 兼満	理事（学術・環境）	第1号委員	
委員 田崎 博之	埋蔵文化財調査室長	第2号委員	
委員 萩田 昌光	埋蔵文化財調査室准教授	第3号委員	
委員 三吉 秀光	埋蔵文化財調査室准教授	第4号委員	
委員 川岡 鶴	教育学部教授	第5号委員	
委員 村上 勉	東アジア古代鉄文化研究センター長	第6号委員	
委員 有川 順治	研究支援部長	第7号委員	
委員 篠田 重義	施設基盤部長	第8号委員	

表2 埋蔵文化財調査室の体制

先端研究・学術基盤機構埋蔵文化財調査室	
氏名	所属
室長 田崎 博之	先端研究・学術基盤機構埋蔵文化財調査室教授
兼任教員 萩田 昌光	先端研究・学術基盤機構埋蔵文化財調査室准教授
兼任教員 三吉 秀光	先端研究・学術基盤機構埋蔵文化財調査室准教授
兼任教員 吉田 弘	ミュージアム准教授
技術補助員 高久 武司	研究支援部
教育支援者 田崎 政栄	研究支援部
教育支援者 田崎なおみ	研究支援部
技能補佐員 井手野充仁	研究支援部
技能補佐員 高木あゆみ	研究支援部

表3 2015年度発掘調査一覧

調査番号	場所	遺跡	工事名	調査種別	調査担当	調査期間	調査面積	出土遺物
01508	城北	文京62次	(城北団地) 城北季務センター前面土塁新設工事	本格調査 (小規模調査)	三吉	2015年8月26日 ～9月30日	5.27m ²	0
01509	城北	文京63次	(城北団地) 工学部講義棟東側駐車場整備その他工事	本格調査 (大規模調査)	萩田	2015年12月26日 ～2016年1月27日	70.2m ²	1

表4 2015年度調査室・調査室資料利用一覧

日時	利 用 者	利 用 資 料	目的	利 用 内 容
1 2015/04/15	愛媛大学法文学部人文学科教員	施設	教育	施設見学
2 2015/05/01	西条市教育委員会職員	刊行報告書	研究	報告書希望
3 2015/05/01	西条市教育委員会職員	刊行報告書	研究	報告書希望
4 2015/05/18	愛媛県埋蔵文化財センター	文京遺跡出土遺物	借用	展示
5 2015/05/27	愛媛大学考古学研究室学生	所蔵団書	教育	複写
6 2015/06/22	東京都埋蔵文化財センター	刊行報告書	研究	報告書希望
7 2015/06/23	愛光学園教員	刊行報告書	研究	報告書希望
8 2015/06/23	松野町教育委員会職員	刊行報告書	研究	報告書希望
9 2015/06/23	松山市教育委員会職員	刊行報告書	研究	報告書希望
10 2015/06/23	今治市教育委員会職員	刊行報告書	研究	報告書希望
11 2015/06/26	松山市立公議所証表紙挿絵作者	刊行報告書およびパンフレット	印刷物 掲載	熟観・複写
12 2015/09/14	山口大学埋蔵文化財資料館教員	刊行報告書	研究	報告書希望
13 2015/10/10	古墳境研究会員	刊行報告書	研究	報告書希望
14 2015/10/11	大阪市博物館協会仙台市・高麗市教育委員会・樋原考古学研究所・鴻池新田会所・古墳境研究所各職員	刊行報告書	研究	報告書希望
15 2015/11/06	愛媛大学考古学研究室学生	所蔵団書	教育	借用
16 2015/11/06	愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター教員	文京遺跡出土遺物	教育	借用
17 2015/12/07	愛媛大学埋蔵文化財調査室教員	文京遺跡出土遺物	教育	借用
18 2015/12/09	愛媛大学考古学研究室学生	文京遺跡出土遺物	研究	実測・写真撮影
19 2015/12/14	愛媛大学埋蔵文化財調査室教員	文京遺跡出土遺物	教育	借用
20 2015/12/21	福岡大学人文学部教員	文京遺跡出土遺物	研究	熟観・写真撮影
21 2016/01/19	愛媛県埋蔵文化財センター職員	所蔵資料	研究	熟観・写真撮影
22 2016/01/29	九州大学地球社会総合科学府大学院生	文京遺跡出土遺物・刊行報告書	研究	熟観・実測・写真撮影
23 2016/02/19	福岡大学考古学研究室学生	文京遺跡出土遺物・刊行報告書	研究	熟観・実測・写真撮影
24 2016/03/23	中部考古研究所・クリ文化財研究所職員	文京遺跡出土遺物	研究	熟観・実測・写真撮影
25 2016/03/25	愛媛大学考古学研究室学生	刊行報告書	研究	報告書希望
26 2016/03/28	松山市文化・スポーツ振興財团職員	文京遺跡出土遺物	研究	熟観・実測・写真撮影

表5 2015年度の埋蔵文化財調査依頼・照会一覧

依頼		対応			
日付	発	工事名	立見書・回答文書	土木工事部	調査
4月1日	施設整備部長	(持田庄地)付属幼稚園開合テラス改修工事	4月7日 同道の既往調査から、工事による掘削面と埋蔵文化財との間の土層が30cm以上あると判断。	4月7日 工事立会(01502)	6月12日 本文14頁
4月7日	農学部長	(持味庄地)拓張埋設ガス管引換工事	4月8日 既設掘り出し部分の再掘削であり埋蔵文化財への影響が及ばないと判断。	- 供電工事	- -
4月14日	施設整備部長	(城北庄地)第2体育館自販機設置工事	4月15日 同道の既往調査から、工事による掘削面と埋蔵文化財との間の土層が30cm以上あると判断。	4月21日 工事立会(01512)	2月29日 本文43頁
4月22日	農学部長	(持味庄地)貴生部会館南側賃貸埋設ガス管引換工事	4月23日 既設掘り出し部分の再掘削であり埋蔵文化財への影響が及ばないと判断。	- 供電工事	- -
4月26日	施設整備部長	(城北庄地)教育部本館北側外灯設置工事	4月23日 既設掘り出し部分の再掘削であり埋蔵文化財への影響が及ばないと判断。	4月24日 工事立会(01503)	6月2日 本文13頁
4月16日	施設整備部長	(持田庄地)付属幼稚園開合排水締結工事	4月23日 同道の既往調査から、工事地点の一部で、工事による掘削面と埋蔵文化財との間の土層が30cm未満であると判断。	4月30日 工事立会(01505)	7月21日～7月24日 本文17頁
4月16日	施設整備部長	(持田庄地)付属幼稚園開合オイルファーネス撤去工事	4月24日 同道の既往調査から、工事地点の一端で、工事による掘削面と埋蔵文化財との間の土層が30cm未満であると判断。	4月30日 工事立会(01504)	7月21日 本文36頁
5月27日	農学部長	(持味庄地)講義棟北側埋設水管塗替工事	5月29日 既設掘り出し部分の再掘削であり埋蔵文化財への影響が及ばないと判断。	- 供電工事	- -
6月17日	施設整備部長	(城北庄地)図書館西ヨリノ伐採業務	6月22日 樹木の伐採に伴う土量であり、同道の既往調査から埋蔵文化財への影響が及ぶことと判断。	- 工事立会(01503)	6月28日 本文14頁
7月9日	農学部長	(持味庄地)屋内雨水管修繕工事	7月13日 既設掘り出し部分の再掘削であり埋蔵文化財への影響が及ばないと判断。	- 供電工事	- -
7月6日	施設整備部長	(持田庄地)付属小学校プレハブ取設工事	7月7日 同道の既往調査から、工事による掘削面と埋蔵文化財との間の土層が30cm以上あると判断。	7月9日 工事立会(01506)	8月7日 本文17頁
6月18日	施設整備部長	(城北庄地)城北事務センター前面上層新設工事	6月23日 同道の既往調査から工事地点で埋蔵文化財への影響が及ぶことと判断。	7月2日 本格調査(文京跡62次調査)	9月28日～9月30日 本文20頁
8月19日	施設整備部長	(城北庄地)図書館東側ユリノ伐採業務	8月19日 樹木の伐採に伴う土量であり、同道の既往調査から埋蔵文化財への影響が及ぶことと判断。	- 工事立会(01507)	9月12日～10月4日 本文17頁
8月31日	施設整備部長	(城北庄地)隣又地区課外活動施設外構工事	9月1日 既設路面上までの掘削であり埋蔵文化財への影響が及ばないと判断。	- 供電工事	- -
9月4日	施設整備部長	(持田庄地)工学部講義棟東側駐輪場整備工事	9月7日 同道の既往調査から工事地点の一部で埋蔵文化財への影響が及ぶことと判断。	10月5日 本格調査(文京跡62次調査)	12月28日～1月27日 本文23頁
10月20日	施設整備部長	(城北庄地)鶴町広庭空き地灌木修繕工事	10月20日 既設掘り出し部分の再掘削であり埋蔵文化財への影響が及ばないと判断。	- 供電工事	- -
11月27日	施設整備部長	(持味庄地)農学部西隣通用門改修その他工事	11月27日 樹木の伐採に伴う土量であり、同道の既往調査から埋蔵文化財への影響が及ぶことと判断。	- 工事立会(01510)	2月4日 本文38頁
10月20日	施設整備部長	(持味庄地)農学部西隣通用門改修その他工事	10月20日 同道の既往調査から、工事地点の一部で、工事による掘削面と埋蔵文化財との間の土層が30cm未満であると判断。	10月23日 工事立会(01511)	2月12日～2月29日 本文40頁
10月29日	施設整備部長	(城北庄地)町属中学校体育館内水管修繕工事	11月2日 既設掘り出し部分の再掘削であり埋蔵文化財への影響が及ばないと判断。	- 供電工事	- -
11月4日	施設整備部長	(城北庄地)職員会館内水管修繕工事	11月4日 既設掘り出し部分の再掘削であり埋蔵文化財への影響が及ばないと判断。	- 供電工事	- -
12月11日	施設整備部長	(城北庄地)農業系共同実験室10.1～a号水管修繕工事	12月8日 同道の既往調査から、工事地点の一部で、工事による掘削面と埋蔵文化財との間の土層が30cm未満であると判断。	12月18日 工事立会(01513)	2月29日 本文44頁
1月19日	施設整備部長	(城北庄地)社会共創学部外壁サイン取設工事	1月21日 同道の既往調査から、工事地点の一部で、工事による掘削面と埋蔵文化財との間の土層が30cm未満であると判断。	1月22日 工事立会(01515)	3月22日 本文47頁
1月22日	施設整備部長	(津田山庄地)プレハブ倉庫取設工事・プレハブ倉庫電源取扱工事	1月29日 埋蔵文化財に觸るデータが少ないとことから、工事に際して工事立会を実施。	- 工事立会(01514)	3月1日 本文45頁
2月3日	施設整備部長	(城北庄地)更衣室10号等上間排水取設工事	2月8日 既設掘り出し部分の再掘削であり埋蔵文化財への影響が及ばないと判断。	- 供電工事	- -
3月15日	施設整備部長	(城北庄地)隣又テニスコート西側防水取設工事	3月16日 現地表下10cmの掘削であり埋蔵文化財への影響が及ばないと判断。	- 供電工事	- -

調査、持田遺跡 10 次調査の正式報告を行っている。

刊行した年報を、全国の大学・研究機関、文化庁、教育委員会・埋蔵文化財センター、博物館・資料館等へ発送した。

(4) 調査成果の公開・利活用

埋蔵文化財調査室では、これまで実施してきた構内遺跡出土の遺物や調査に関するデータなどを保管している。これらの調査室保管資料に関して、学内外から公開や利用の要望が寄せられてきた。調査室では、調査成果の一部を愛媛大学ミュージアムにおいて常設展示し、広報パンフレットの作成・配布や Web を利用した情報発信、公開講座の企画・実施、愛媛大学ミュージアム・エントランスを利用したスポット展示などを通じて積極的に広報活動を進めている。

① 保管資料の活用状況

2015 年度、保管資料等の利用申請件数は 26 件であった（表 4）。内訳は学内 8 件、学外 18 件である。この他に法文学部地域文化実験演習における学部学生、法文学研究科埋蔵文化財論課題研究における大学院教育における教材としても利用されている。また、平成 26 年に愛媛大学法文学部と復旦大学文物与博物館学系の間で結ばれた「学部間学術交流協定」に基づき、平成 27 度は「愛媛大学法文学部人文系担当学部長裁量経費プロジェクト」の一環として復旦大学教員・学生が来學、埋蔵文化財調査室を教育の場として利用した。そこでは室内整理作業の見学、微細遺物の抽出方法などを紹介した。日中間における考古資料の調査・整理方法の違いを理解するうえで役立ったと考える（写真 1・2）。

② 愛媛大学ミュージアム展示品関連事業

2009 年 11 月に開館した愛媛大学ミュージアム「人間の営み」ゾーンにおいて、文京遺跡を中心とした構内遺跡出土資料の常設展示を行っている。

③ 広報パンフレットの配布

広報パンフレット『発掘愛媛大学』を作成しており、年度当初には、新入学生ならびに新規採用職員を対象として約 2,400 部を配布するとともに、希望者には随時配布している。

④ Web を利用した広報活動

埋蔵文化財調査室では、2004 年度にホームページを開設し、発掘調査や情報発信を行っている。発信内容を随時更新し、公開講座情報やスポット展示情報な

どを公開した。

（埋蔵文化財調査室ホームページアドレス <http://maibun.adm.ehime-u.ac.jp/> を参照）

⑤ 公開講座の開催

平成 27 年度愛媛大学公開講座「文京遺跡から学ぶ（11）－遺跡・遺構・遺物の見方を学ぶ（2）－」を以下の日程で開催した（写真 3～8）。

第 1 回 10 月 10 日（土）柴田昌児

「縄画土器・分銅形土製品の見方－弥生時代の造形表現－」

第 2 回 10 月 24 日（土）三吉秀充

「地層を見分ける－住居跡・高床倉庫跡・畠跡・水田跡－」

第 3 回 10 月 31 日（土）田崎博之

「土器を見分ける－縄文時代・弥生時代・古墳時代－」

第 4 回 11 月 7 日（土）植林啓介（東アジア古代鉄文化研究センター）

「鉄と塩の生産遺跡の見方」

第 5 回 11 月 14 日（土）田崎・柴田・植林・三吉
「討論」

各講座では、文京遺跡出土遺物を中心に縄画土器・分銅形土製品・製塙遺跡・製鉄遺跡・縄文時代～古墳時代の土器、地層を取り上げて、実物資料に触れながら遺構・遺物の見方や見分け方について講義した。最終回の討論では、それぞれの成果や課題を議論し、受講者との活発な質疑応答を行った。

⑥ 文京遺跡発掘調査成果のミュージアム・エントランスにおけるスポット展示

現在、進めている発掘調査報告書の刊行に向けた中間成果報告を「記憶」をキーワードにスポット展示として実施した。各回とも新聞やテレビなどのメディアに取り上げられ、多くの学生及び一般市民の見学者があつた。

① 「文京遺跡の解明 I、交流の記憶」

（平成 27 年 6 月 3 日～7 月 27 日）

文京遺跡から出土した 2000 年前の各地の土器を展示し、当時の人々の地域を越えたつながりについて紹介した。その中でも、朝鮮系無文土器に注目し、韓国と日本をつなぐ新たな交流ルートを探った。

② 「文京遺跡の解明 II、戦争の記憶」

（平成 27 年 8 月 19 日～平成 28 年 1 月 31 日）

文京遺跡と御幸遺跡で発見された昭和時代に入ったころの戦争に関連する遺構・遺物を通じて、当時、20代前後の若者たちが体験した戦争の記憶を紹介した。

③「文京遺跡の解明Ⅲ、食の記憶」

(平成 28 年 2 月 17 日～平成 28 年 4 月 3 日)



写真 1 復旦大学との交流 1

文京遺跡で発見された弥生時代から古墳時代の食に関連する遺構・遺物を分析し、植物遺体や食糧残滓の展示、変形土器の観察結果から、斜めに傾けた煮焼き方法を復元し、当時の食生活を紹介した。

(柴田)



写真 2 復旦大学との交流 2



写真 3 公開講座の様子 1



写真 4 公開講座の様子 2



写真 5 公開講座の様子 3



写真 6 公開講座の様子 4



写真 7 公開講座の様子 5



写真 8 公開講座の様子 6



写真 9 スポット展示Ⅰ「交流の記憶」 1



写真 10 スポット展示Ⅰ「交流の記憶」 2



写真 11 スポット展示Ⅱ「戦争の記憶」 1



写真 12 スポット展示Ⅱ「戦争の記憶」 2



写真 13 スポット展示Ⅲ「食の記憶」 1



写真 14 スポット展示Ⅲ「食の記憶」 2



図1 城北団地調査地点位置図(縮尺1:2,000)

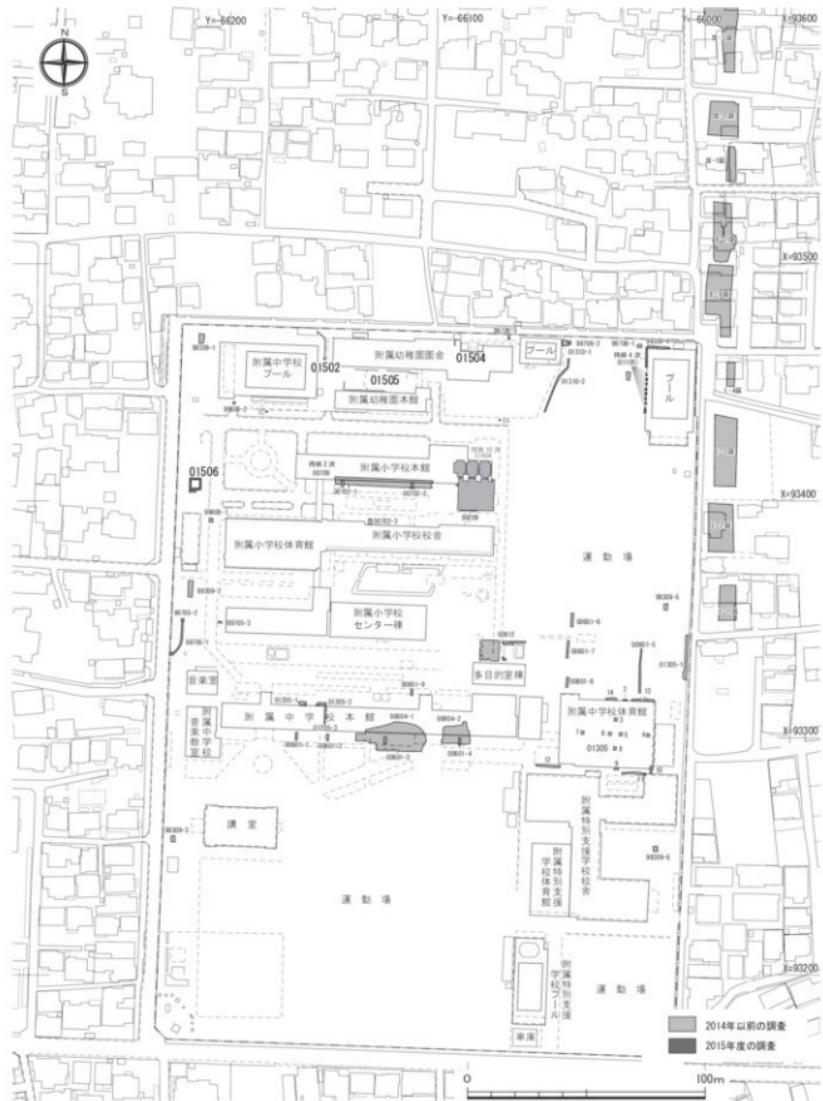


図2 持田団地調査地点位置図（縮尺 1/2,000）

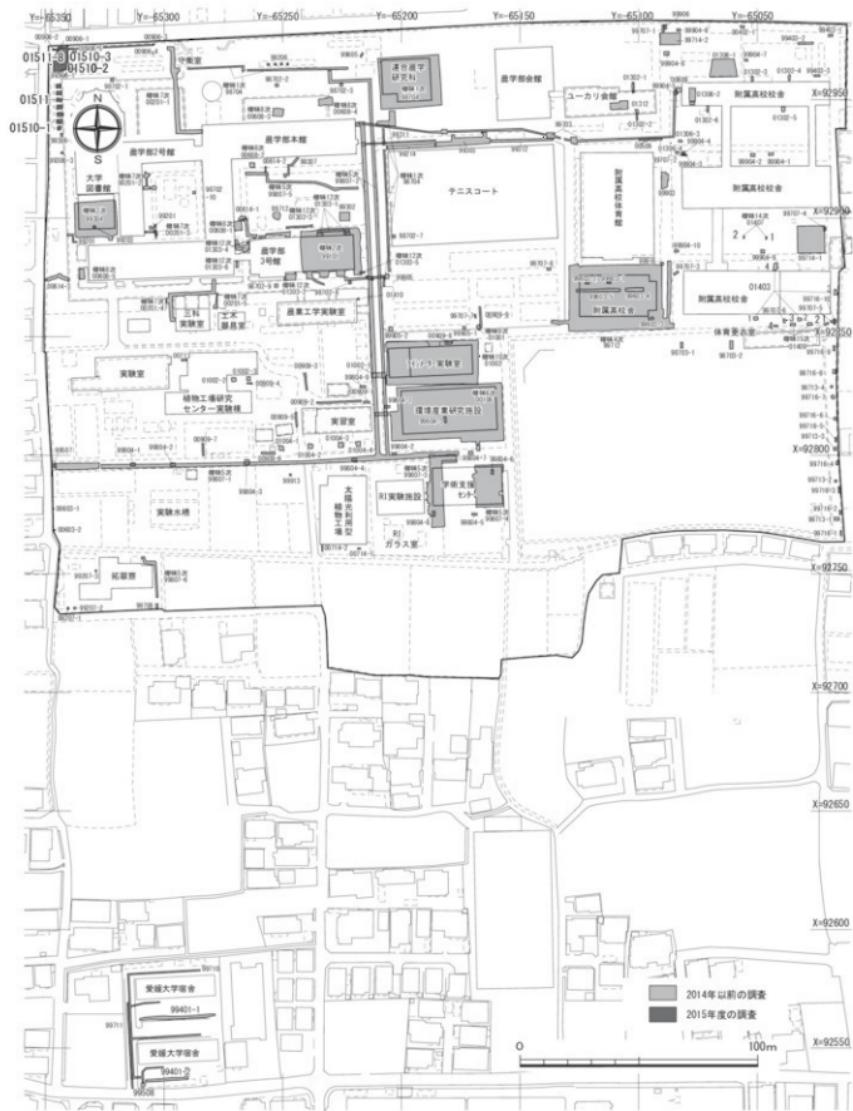


図3 樺味団地調査地点位置図(縮尺1/2,000)

II 2015年度の発掘調査

01501 (城北団地) 教育学部本館北側外灯設備修繕工事に伴う立会調査

調査地点 松山市文京町3番 城北団地内

調査面積 約1.0m²

調査期間 2015年6月2日

調査種別 工事立会

調査担当 三吉秀充

依頼文書 施設基盤部長発事務連絡

(平成27(2015)年4月20日付)

1. 調査に至る経緯

2015年4月、施設基盤部から教育学部北側の街灯設備改修工事計画に伴い、工事地点での埋蔵文化財の有無について照会があった。工事地点は、文京遺跡19次調査II区(99902調査)15トレンチ地点にある。施設基盤部は、埋蔵文化財調査室が作成した意見書を添付し、4月21日付けで土木工事等届出書を、松山

市教育委員会を通じて愛媛県教育委員会へ提出した。これに対して愛媛県教育委員会より平成27年5月11日付で、工事範囲全域について、工事立会を行うこととの指示があった。これを受け6月2日に工事立会を実施した。

2. 調査の記録

既存の街灯設備を撤去した後、重機を用いて現地表下120cmまで掘り下げた(図4、写真15・16)。調査地点では掘り下げ停止面が文京遺跡基本層I層内におさまっており、99902調査15トレンチの調査範囲内に含まれていることがわかった。

3.まとめ

本立会調査の結果、工事に伴う掘削が埋蔵文化財に影響しないことが判明した。
(三吉)

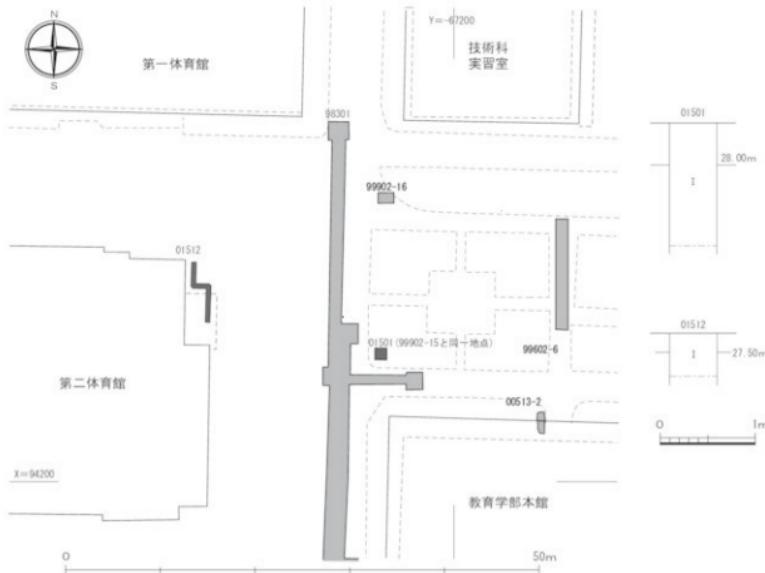


図4 01501・01512 調査地点位置図(縮尺1/500)・土層断面図(縮尺1/50)



写真 15 01501 調査地点近景 (西から)



写真 16 01501 調査地点掘削状況 (西から)



写真 17 01502 調査地点全景 (北西から)



写真 18 01502 調査地点掘削状況 (北西から)

01502（持田団地）附属幼稚園園舎テラス改修工事に伴う立会調査

調査地点 松山市持田1丁目860番 持田団地内

調査面積 4.09m²

調査期間 2015年6月12日

調査種別 工事立会

調査担当 柴田昌児・三吉秀充

依頼文書 施設基盤部長発事務連絡

（平成27（2015）年4月1日付）

員会を通じて愛媛県教育委員会へ提出した。平成27年4月15日付で、愛媛県教育委員会より工事範囲全域について、工事立会を行うこととの指示があった。これを受けて6月12日に工事立会を実施した。

2. 調査の記録

調査は雨水管路工事（現地表下20cmまでの掘削）と排水樹工事（現地表下40cmまでの掘削）地点で実施した。工事に立ち合い、現地表下20～40cmまで掘り下げ、両地点とも基本層序I層内におさまっていることを確認した（図5、写真17・18）。

3. まとめ

本立会調査の結果、工事に伴う掘削が埋蔵文化財に影響しないことが判明した。
（三吉）

1. 調査に至る経緯

2015年4月、施設基盤部から持田団地内に所在する附属幼稚園園舎の排水修繕工事計画に伴い、工事地点での埋蔵文化財の有無について照会があった。施設基盤部は、埋蔵文化財調査室が作成した意見書を添付し、4月7日付で土木工事等届出書を、松山市教育

01503（城北団地）図書館西側ユリノキ伐採業務に伴う立会調査

調査地点 松山市文京町3番 城北団地内

調査面積 3m²

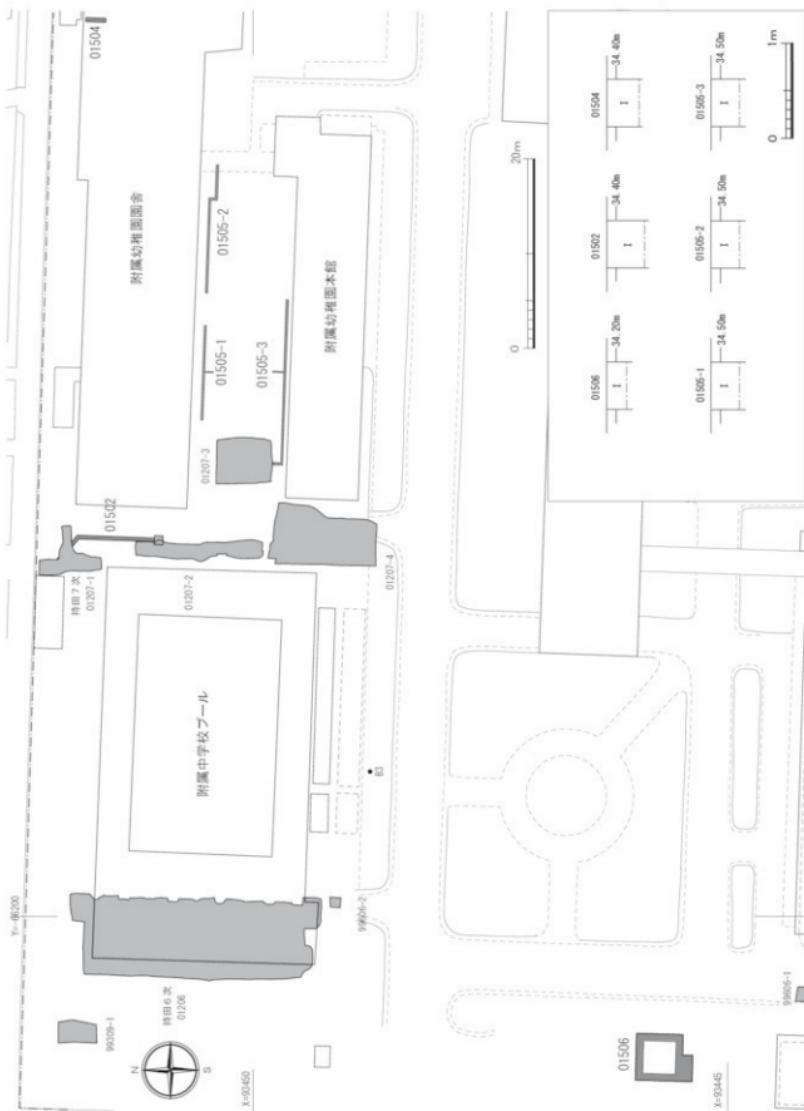


図5 01502・01504・01505・01506 調査地位置図(縮尺1/500)・土層断面図(縮尺1/50)

調査期間 2015年6月28日
調査種別 工事立会
調査担当 三吉秀充
依頼文書 施設基盤部長発事務連絡
(平成27(2015)年6月17日付)

1. 調査に至る経緯

2015年6月、施設基盤部から城北団地附属図書館の西側のユリノキの伐採計画に伴い、工事地点での埋蔵文化財の有無について照会があった。埋蔵文化財調



写真 19 01503 調査地点全景 (北から)

査室では、埋蔵文化財への影響が予想されることから調査を実施することとした。

2. 調査の記録

伐採作業ではユリノキを吊り上げ、現地表面下への深度を浅くし、伐採作業後、現地表下約30cmまで掘り下げ、調査地点が1層内におさまっていることを確認した（図6、写真19・20）。

3. まとめ

本立会調査の結果、工事に伴う掘削が埋蔵文化財に影響しないことが判明した。
(三吉)



写真 20 01503 調査地点ユリノキ吊り上げ状況
(北から)

01504（持田団地）附属幼稚園園舎オイルファーネス撤去工事に伴う立会調査

調査地点 松山市持田1丁目860番 持田団地内
調査面積 0.93m²
調査期間 2015年6月12日
調査種別 工事立会
調査担当 三吉秀充
依頼文書 施設基盤部長発事務連絡
(平成27(2015)年4月16日付)

1. 調査に至る経緯

2015年4月、施設基盤部から持田団地内に所在する附属幼稚園園舎の排水修繕工事計画に伴い、工事地点での埋蔵文化財の有無について照会があった。施設基盤部は、埋蔵文化財調査室が作成した意見書を添付し、4月30日付けで土木工事等届出書を、松山市教育委員会を通じて愛媛県教育委員会へ提出した。平成27年5月13日付で、愛媛県教育委員会より工事範囲全域について、工事立会を行うこととの指示があった。これを受けて7月21日に工事立会を実施した。

2. 調査の記録

調査では人力によって現地表下34cmまで掘り進め、基本層序1層内におさまっていることを確認した（図5）。

3. まとめ

本立会調査の結果、工事に伴う掘削が埋蔵文化財に影響しないことが判明した。
(三吉)



写真 21 01504 調査地点掘削状況 (北東から)

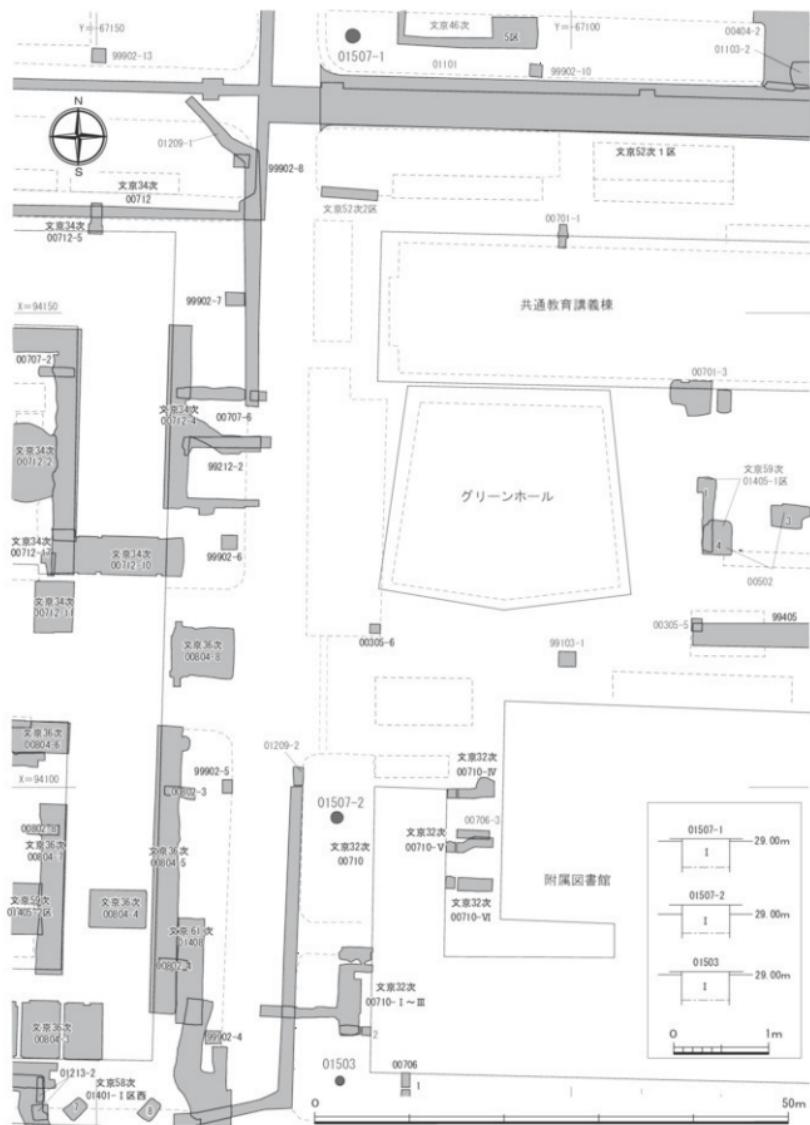


図6 01503・01507 調査地点位置図(縮尺1/500)・土層断面図(縮尺1/50)

01505（持田団地）附属幼稚園園舎排水修繕工事に伴う立会調査

調査地点 松山市持田1丁目860番 持田団地内
調査面積 14.16m²
調査期間 2015年6月12日
調査種別 工事立会
調査担当 三吉秀充
依頼文書 施設基盤部長発事務連絡
(平成27(2015)年4月16日付)

1. 調査に至る経緯

2015年4月、施設基盤部から持田団地内に所在する附属幼稚園園舎の排水修繕工事計画に伴い、工事地点での埋蔵文化財の有無について照会があった。施設基盤部は、埋蔵文化財調査室が作成した意見書を添付し、4月30日付けで土木工事等届出書を、松山市

教育委員会を通じて愛媛県教育委員会へ提出した。平成27年5月13日付で、愛媛県教育委員会より工事範囲全域について、工事立会を行うこととの指示があった。これを受け6月12日に工事立会を実施した。

2. 調査の記録

調査地点は、附属幼稚園本館と園舎の中庭の2か所に別れ、北西部の調査地点を1トレンチ、東北部の調査地点を2トレンチ、南西部の調査地点を3トレンチとした。調査では現地表下30cmまで掘り下げ、基本層序1層内におさまっていることを確認した（図5、写真22～25）。

3.まとめ

本立会調査の結果、工事に伴う掘削が埋蔵文化財に影響しないことが判明した。
(三吉)

01506（持田団地）附属小学校プレハブ取設工事に伴う立会調査

調査地点 松山市持田1丁目860番 持田団地内
調査面積 10.47m²
調査期間 2015年8月7日
調査種別 工事立会
調査担当 三吉秀充
依頼文書 施設基盤部長発事務連絡
(平成27(2015)年7月6日付)

1. 調査に至る経緯

2015年7月、施設基盤部から持田団地内に所在する附属小学校プレハブ取設工事に伴い、工事地点の埋蔵文化財の有無について照会があった。埋蔵文化財調査室では意見書を作成し、7月9日付けで土木工事等

届出書を、松山市教育委員会を通じて愛媛県教育委員会へ提出した。これに対して愛媛県教育委員会より平成27年7月15日付で、工事範囲全域について、工事立会を行うこととの指示があった。これを受け8月7日に工事立会を実施した。

2. 調査の記録

調査地点は、プレハブ基礎部分にある。重機を用いて現地表下22cmまで掘り進め、表土層であるⅠ層が続いていることが確認できた（図5、写真26・27）。

3.まとめ

本立会調査の結果、工事に伴う掘削が埋蔵文化財に影響しないことがわかった。
(三吉)

01507（城北団地）愛大ミューズ東側ユリノキ伐採業務に伴う立会調査

調査地点 松山市文京町3番 城北団地内
調査面積 12.7m²
調査期間 2015年9月12日、10月4日
調査種別 工事立会
調査担当 三吉秀充
依頼文書 施設基盤部長発事務連絡
(平成27(2015)年8月19日付)

1. 調査に至る経緯

施設基盤部から愛大ミューズ東側のユリノキが倒壊しかかっており、伐採したいとの連絡があった。埋蔵文化財調査室では、埋蔵文化財への影響が予想される

ことから調査を実施することとした（図6）。

2. 調査の記録

ユリノキ伐採予定地の2ヶ所について、北側を1トレンチ、南側を2トレンチとした。

(1) 教育学部4号館南西部（1トレンチ）

ユリノキの伐採作業後、抜根のため現地表下約30cmまで掘り下げて、基本層序I層におさまっていることを確認した（写真28・29）。

(2) 附属図書館北西部（2トレンチ）

ユリノキの伐採作業後、抜根のため現地表下約

30cmまで掘り下げて、基本層序I層におさまっていることを確認した（写真30・31）。

(3) 法文学部本館南東部

当初拔根も予定されていたが、作業に伴って既設の縁石などを破壊するおそれがあることから伐採のみとなった。そのため、調査は実施していない。

3. まとめ

本立会調査では、1・2トレンチとともに工事に伴う掘削が埋蔵文化財への影響がないことが判明した。

（三吉）



写真22 01505調査1トレンチ（西から）



写真23 01505調査2トレンチ（西から）



写真24 01505調査3トレンチ東側（東から）



写真25 01505調査3トレンチ西側（南から）



写真26 01506調査地点全景（東から）



写真27 01506調査地点掘削状況（北東から）



写真 28 01507 調査 1 トレンチユリノキ吊り上げ状況 (南から)



写真 29 01507 調査 1 トレンチ抜根状況 (南東から)



写真 30 01507 調査 2 トレンチユリノキ吊り上げ状況 (南から)



写真 31 01507 調査 2 トレンチ抜根状況 (南から)

01508 (城北団地) 城北事務センター南面上屋新設工事に伴う本格調査 (文京 62 次発掘調査)

調査地点 松山市文京町 3 番 城北団地内

調査面積 5.27m²

調査期間 2015 年 9 月 28 日～9 月 30 日

調査種別 工事立会

調査担当 三吉秀充

調査補助 加島なおみ・宮崎直栄

依頼文書 施設基盤部長發事務連絡

(平成 27 (2015) 年 6 月 18 日付)

1. 調査に至る経緯

2015 年 6 月 18 日付けで、施設基盤部から城北事務センター南面上屋新設工事に伴い、工事地点の埋蔵文化財の有無について照会があった。施設基盤部は、埋蔵文化財調査書が作成した意見書を添付し、6 月 25 日付けで土木工事等届出書を提出した。7 月 7 日付けで愛媛県教育委員会から「発掘調査を必要とする範囲」と「工事立会を実施する必要のある範囲」の指示が

あった。これを受け 7 月 17 日付けで発掘調査届出書を提出し、7 月 29 日付けで受理したとの通知があった。以上の所要の手続きを経て、さらに学内環境整備が整った 9 月 28 日から発掘調査に着手した。

2. 調査の記録

調査区は屋根の柱基礎工事部分と雨水の排水樹部分と排水管設置工事部分からなる。愛媛県教育委員会からの指示では、柱基礎工事部分と排水樹工事部分については工事立会の指示であった。西側の柱基礎工事部分を 1 トレンチ、東側の柱基礎工事部分・排水樹設置工事部分・排水管設置工事部分を 2 トレンチとして調査を実施した(図 7)。

(1) 1 トレンチ

重機を用いて現地表下 35～40cm まで掘り下げ、基本層序 I 層・II 層が続くことを確認した。II 層直下で自然流路 SR-1 を検出した。以下、現地表下

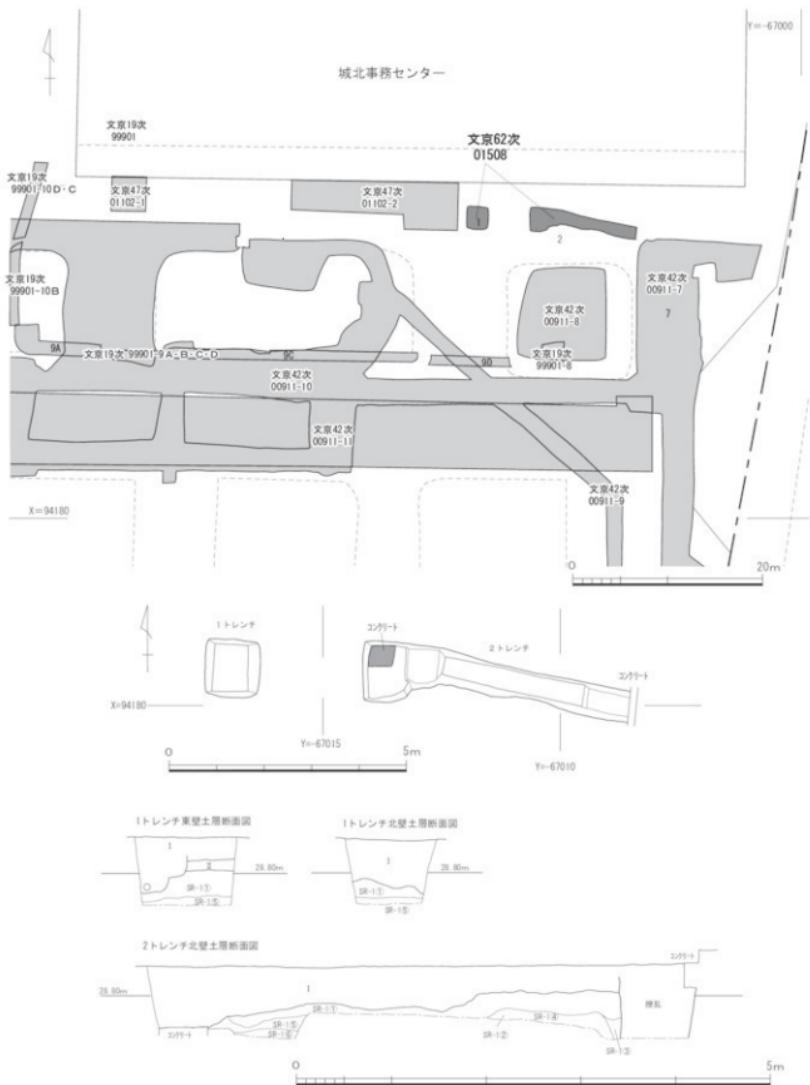


図7 01508調査(文京遺跡62次)調査区位置図(縮尺1/500)・調査区平面図(縮尺1/100)
・土層断面図(縮尺1/50)

72cmまで調査を行い、SR-1が続くことを確認した。SR-1の埋土中からは、遺物は出土しなかった。工事根切面である現地表下72cm以下の埋土については現状保存した（写真32・33）。

（2）2トレンチ

重機を用いて現地表下26～64cmまで掘り下げ、I層が続くことを確認し、その直下で自然流路SR-1を検出した。SR-1は、現地表下52～78cmまで調査を行い、さらに埋土が続いていることを確認した。遺物は出土しなかった。柱基礎工事、排水樹設置工事、排水管設置に伴う工事根切面である現地表下64cm以



写真32 文京遺跡 62次調査1 トレンチ SR-1 完掘状況（北から）



写真34 文京遺跡 62次調査2 トレンチ SR-1 完掘状況（西から）



写真36 文京遺跡 62次調査2 トレンチ西端完掘状況（西から）

下の埋土については現状保存した（写真34～37）。

SR-1の埋土の特徴は以下の通りである。

- ①黒褐色（10YR3/1）シルト。径5mm未満の砂礫が混じる。
- ②黒褐色（10YR3/1）砂質シルト。径2～3mmの砂礫が混じる。
- ③黄灰色（2.5Y 6/1）砂質シルト。径3mmの砂礫が混じる。
- ④黒褐色（10YR3/1）砂質シルト。にぶい黄色（25Y6/3）シルトの径1～3cmの丸いブロックが混じる。



写真33 文京遺跡 62次調査1 トレンチ東壁土層断面



写真35 文京遺跡 62次調査2 トレンチ SR-1 完掘状況（南西から）



写真37 文京遺跡 62次調査2 トレンチ西端完掘状況（南から）

- ⑤灰黄色（25Y6/2）砂質土。細砂～粗砂層。
⑥灰黄色（25Y6/2）砂質土。細砂。

3.まとめ

今回の調査では、調査区全体で自然流路SR-1を確認できた。このSR-1は19次調査Ⅱ区で検出したⅢ層一部、文京遺跡42次調査で検出した自然流路SR-5に対応するものである。今回の調査では遺物は出土していないが、これまでの調査では古代の遺物が出

土しており、当該期の自然流路であり、今回の調査では、これらの成果を追認することができた。

なお、検出したSR-1は、工事根切面以下の埋土については工事による掘削が及ばないので現状保存することとした。今後、本調査区内および周辺で、掘削を伴った工事を計画する場合は、その工事における掘削深度によって発掘調査等の対応が必要である。

(三吉)

01509（城北団地）工学部講義棟東側駐輪場整備工事に伴う本格調査

（文京63次発掘調査）

調査地点 松山市文京町3番 城北団地内

調査面積 70.2m²

調査期間 2014年8月19日

調査種別 本格調査

調査担当 榎田昌児

依頼文書 施設基盤部長発事務連絡

（平成27（2015）年9月4日付）

1. 調査に至る経緯

2015年9月4日付けで、施設基盤部から工学部講義棟（現共通講義棟C）東側に駐輪場を整備する工事に伴い、工事地点の埋蔵文化財の有無について照会があった。施設基盤部は、埋蔵文化財調査室が作成した意見書を添付し、9月9日付けで土木工事等届出書を提出した。10月2日付けで愛媛県教育委員会から「発掘調査を必要とする範囲」、「工事立会を実施する必要

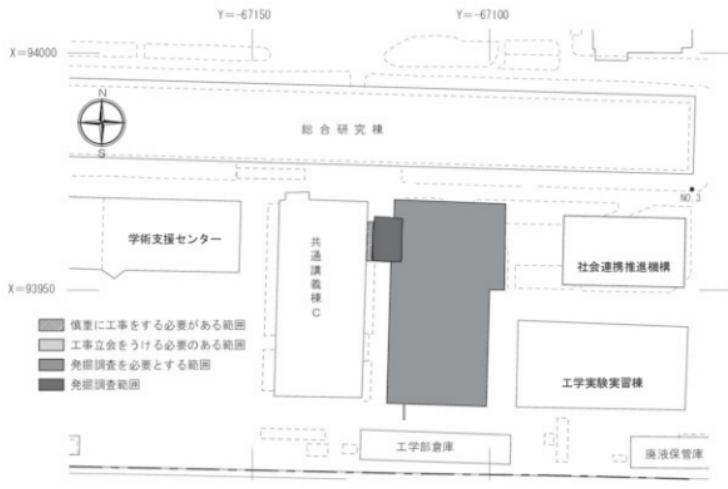


図8 01509調査（文京遺跡63次）愛媛県教育委員会の指示による調査範囲

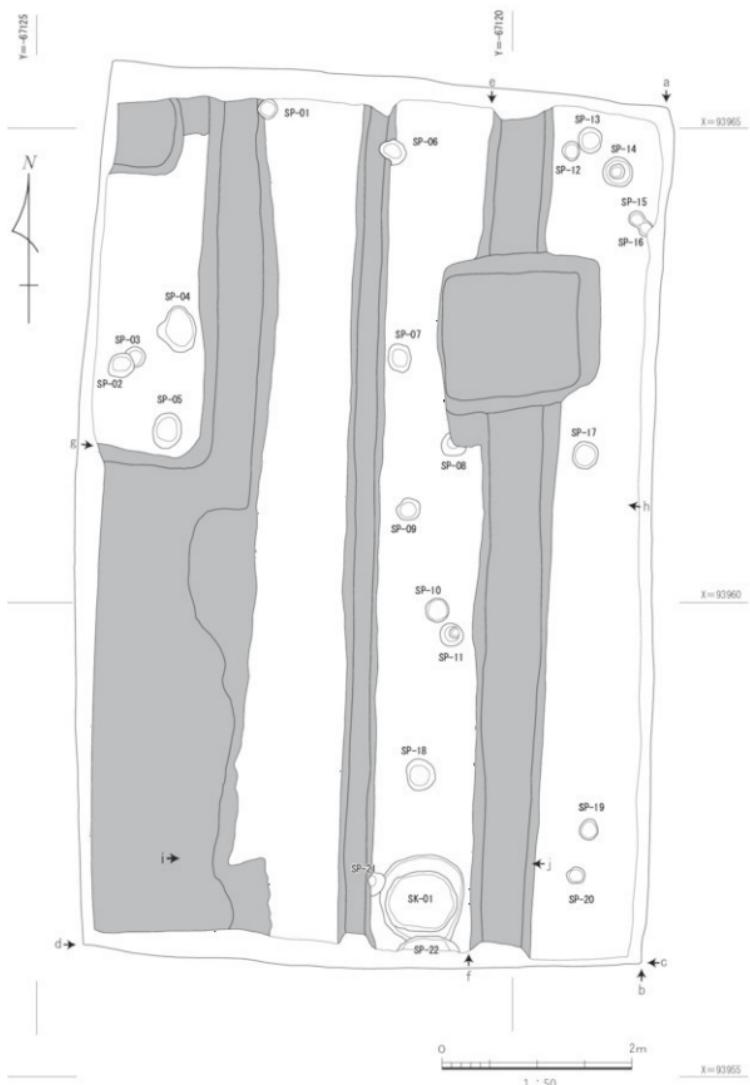
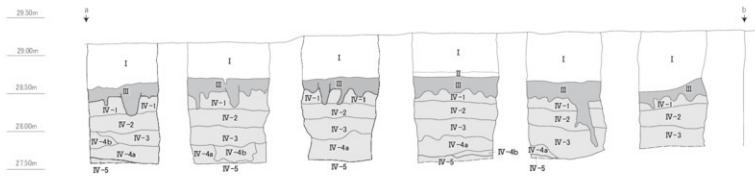
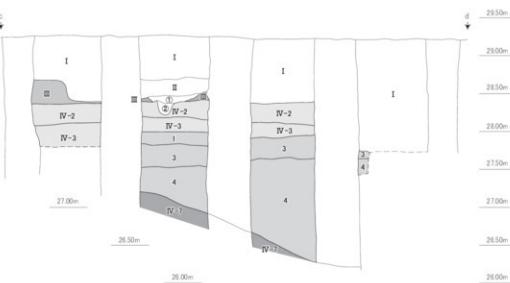


図9 01509調査(文京遺跡63次)平面図(縮尺1/50)

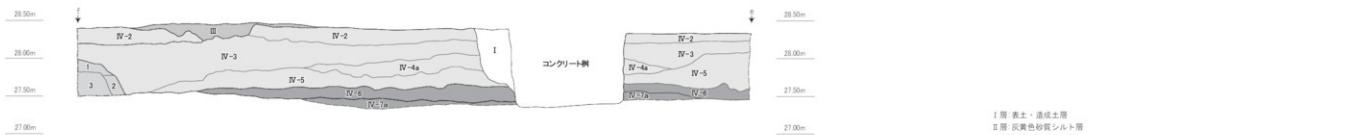
①調査区東壁断面



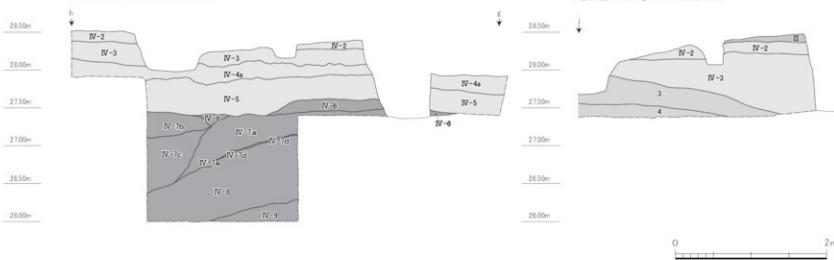
②調査区南壁断面



③調査区内e-fライン東側断面



④調査区内g-hライン南側断面



⑤調査区内i-jライン南側断面

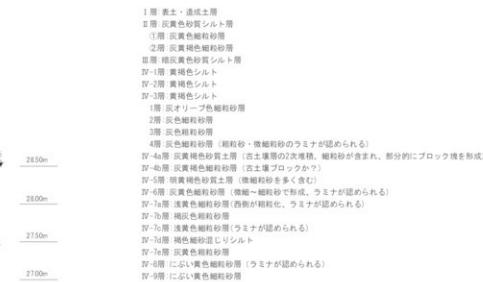


図 10 01509調査(文京遺跡63次)土層断面図（縮尺1/50）

のある範囲」、「慎重に工事する必要がある範囲」の指示があった。10月5日付けで発掘調査届出書を提出し、12月28日から2016年1月27日にかけて発掘調査を実施した。本報告は発掘調査の正式報告である。

2. 調査の経過

駐輪場に伴うアスファルト舗装及び自転車置場設置工事では、工事に伴う掘削深度がいずれも28cmまでで、基本土層Ⅰ層（造成土）中に収まり、埋蔵文化財への影響がないと判断できたことから、現状保存した。今後、本調査区内および周辺で、掘削を伴った工事を計画する場合は、発掘調査等の対応が必要である。

掘削深度が約4mに及ぶ消防用水の水槽及び水槽蓋場が設置される範囲を発掘調査の範囲とした（図8）。

12月28日、調査区範囲を設定し、矢板施工のための日鋼が、調査区周間に打設された。2016年1月5日、基準点の移動を行う。6日、掘削資材を搬入、午後より重機による掘削を開始する。7日、既存の配管による攪乱があり、残存した造構面を壊さないように重機及び人力により慎重に掘削する。8日、造構検出を実施し、基本層序Ⅳ層上面で造構を確認し、検出状況写真を撮影した。11日、造構掘削を開始する。併せて造構および攪乱の平面図測量を実施する。13日、造構を完掘する。午後、造構完掘写真を撮影した。15日、Ⅳ層以下の堆積状況及び繩文時代の造構・遺物を確認するため、人力掘削でⅣ層上面から約1mまで掘り下げ、細粒砂が含まれた堆積層を確認した。摩滅した繩文土器片が1点出土した。造構は確認できなかつた。20日、土層堆積状況を確認しながら断面図測量を実施、併せて人力でさらに河川堆積層を掘り下げる。随時、堆積状況を精査した上で土層断面を撮影した。26日から27日にかけて、調査区表面崩落の危険が伴うため、人力掘削を中止し、重機によって深掘りした。現地表面から約3m50cmまで掘削し、河成堆積層が続くことを確認し、土層断面を撮影したあと、測量を実施した。27日、全ての調査を終了し、機材を埋蔵文化財調査室に撤収した。

3. 調査の記録

(1) 調査地点の位置

調査地点は、城北団地の南側に位置し、共通講義棟C（旧工学部講義棟）東側に位置する（図8）。

(2) 層序

調査区内は配管や造成による攪乱があり（図9）、Ⅱ層の大部分は破壊されていたものの、城北団地の



図11 01509調査（文京遺跡63次）
Ⅲ層出土遺物（縮尺1/3）

調査成果で設定している基本層序Ⅰ～Ⅳ層を確認できた。

I層

表土・造成土層で層厚50～150cmを測る。

II層

造成以前の灰黄色系の近世～近代の水田層である。調査区内では全体的に削平を受けており、調査区東壁断面（図10-①）と調査区南壁断面（図10-②）でわざかに確認することができる。

III層

暗灰黄色シルトである。弥生時代～古墳時代の遺物を包含する基本層序であるが、本調査区では当該期の遺物は出土していない。層厚15～30cmを測る。Ⅲ層下面では検出された小穴による掘り込みと植物根などによる起伏が認められた。出土遺物はごく少量でⅢ層上面付近で中世土師皿の細片5点が出土した（写真72）。図化できる土師皿は口縁部片1点である（図11）。口径8cm、器高は残存値0.8cmを測る。色調は外外面ともにぶい黄褐色である。今次調査のⅢ層上位部は中世段階に擾乱を受けている可能性が高い。

IV層

谷状地形に堆積したⅣ層はⅣ-1～Ⅳ-9層に分層でき、さらにⅣ-3層とⅣ-4層間に細粒砂・粗粒砂層1～4層が認められる。

Ⅳ-1～3層は、黄褐色シルト層である。Ⅳ-1層からは土器細片1点が出土している（写真73）。出土土器は、最大残存値2.7cm、厚さ6mmの摩耗した細片で、胎土は粗く、砂粒を含み、色調が褐色を呈することから、器種は特定できないが繩文土器部片と考えられる。

Ⅳ-3層下位には灰オリーブ色細粒砂層（1層）、灰色細粒砂層（2層）、灰色粗粒砂層（3層）、粗粒砂・微細粒砂のラミナが見られる灰色細粒砂層（4層）が認められ（図10-③・⑤）、いずれも灰色系の同一色調を呈し、河道内の流水に伴う堆積（河成堆積層）の一部と考えられる。その堆積構造は、北側へ傾斜する平らで平行な層理が認められることから北側を下流として傾斜する河成堆積層と考えられる。出土

遺物はない。

IV-4a層は灰黄褐色砂質土層である。細粒砂が含まれ、部分的にブロック塊を形成している。IV-4b層は灰黄褐色細粒砂層で古土壤ブロックの可能性がある(図10-①・③・④)。IV-4a・b層は河道内に形成した古土壤層の2次堆積である。出土遺物はない。

IV-5～9層は、黄色系の色調を呈し、河道内の流水に伴う堆積の一部と考えられる(図10-②～④)。IV-5層は明黄褐色砂質土層で微細粒砂が多く含む。IV-6層は灰黄色細粒砂層でラミナが認められる。IV-7層は砂粒の大きさとラミナの状態からa～eの5層に分層した。IV-7a層は浅黄色細粒砂層である。西側がやや粗粒化しラミナが認められる。IV-7b層は褐灰色粗粒砂層である。IV-7c層は浅黄色粗粒砂層でラミナが顕著に認められる。IV-7d層下位には褐灰色砂混じりシルト(IV-7d層)、灰黄色粗粒砂層(IV-7e層)が薄く堆積している。IV-8層はに

ぶい黄色細粒砂層でラミナが認められ、IV-9層はにぶい黄色細粒砂層である。IV-5～9層は、層厚が1m80cm以上あり、規模の大きな河成堆積層の一部であることがわかった。地表面下、4mまで掘削したが、河床には到達できなかった。

IV-5～9層の堆積構造は、部分的な検出のため、全体構造を把握することは困難である。東西方向の断面である図10-④は流向が南北方向に向く河成堆積層の横断面と考えられ、断面のラミナは、南西方に向かって傾斜しており、レンズ状堆積の一部と見られる。

(3) 出土遺構

南北方向に延びる大小3本の配管による搅乱から免れたIV層上面で遺構を出土した(図9)。出土した遺構は土壙1基(SK-01)と小穴22基(SP-01～22)である(図12)。遺構埋土は、形成年代によって特徴が異なり、Ⅲ層に由来する暗灰色系の埋土(弥生時代

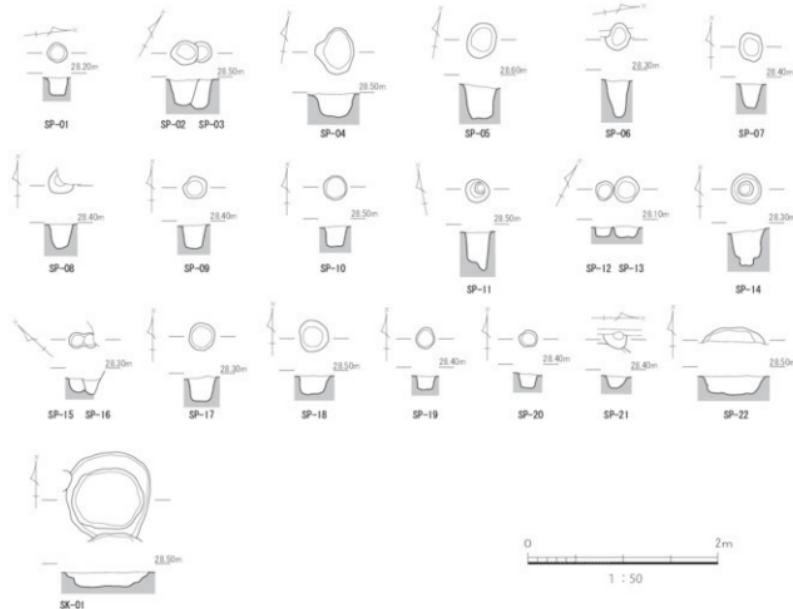


図12 01509調査(文京遺跡63次)遺構平面図(縮尺1/50)

から古墳時代)、Ⅲ層上位の擾乱された堆積層に由来する灰黄褐色・褐色系の埋土(中世)、Ⅱ層に由来する黃灰色系の埋土(近世以降)の大きく3つに分けられる。

SK-01:調査区南端に位置する。西側をSP-21に、南側をSP-22に切られている。径80~87cmの円形の土坑で深さ9cmほど掘り込み、さらに径72cm、深さ5cmの円形の掘り込みがある。埋土は黄褐色細粒砂のブロックを含む暗灰黄色砂質土である。出土遺物はないがⅢ層に同じ埋土であることから弥生時代から古墳時代の遺構の可能性が高い。

SP-01:調査区北端西よりに位置する。径21cmの円形の掘り形をもつ。深さは12cmを測る。出土遺物はないが埋土は灰黄褐色砂質土であり、中世段階に形成された埋土と考えられる。

SP-02:調査区北西部に位置する。北東側のSP-3を切っている。径25~27cmの円形の掘り形をもつ。深さは30cmを測る。埋土は褐灰色シルトで、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-03:調査区北西部に位置する。南西側のSP-2に切られている。径21cmの円形の掘り形をもつ。深さは35cmを測る。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-04:調査区北西部に位置する。径41~48cmのいびつな円形の掘り形をもつ。深さは26cmを測り、東側がわずかに低くなっている。埋土は褐灰色シルトで、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-05:調査区北西部に位置する。径28~38cmの楕円形の掘り形をもつ。深さは35cmを測る。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-06:調査区北端中央に位置する。径29cmの円形の掘り形をもつ。深さは39cmを測る。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-07:調査区中央北よりに位置する。径24~32cmの楕円形の掘り形をもつ。深さは26cmを測る。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-08:調査区中央に位置する。北東部を擾乱によって切られている。径26cmの円形の掘り形をもつ。深さは26cmを測る。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-09:調査区中央に位置する。径26cmの円形

の掘り形をもつ。深さは25cmを測る。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世段階の遺構である。

SP-10:調査区中央南よりに位置する。径23cmの円形の掘り形をもつ。深さは20cmを測る。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-11:調査区中央南よりに位置する。径24cmの円形の掘り形をもち、深さ38cmを測る。さらに径10cm、深さ5cmの円形の掘り込みがある。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-12:調査区北東側に位置する。本遺構北東側でSP-13と接する。径17cmの円形の掘り形をもつ。深さは16cmを測る。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-13:調査区北東側に位置する。本遺構南西側でSP-12と接する。径24cmの円形の掘り形をもつ。深さは17cmを測る。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-14:調査区北東側に位置する。径32cmの円形の掘り形をもち、深さ30cmを測る。さらに径16cm、深さ9cmの円形の掘り込みがある。埋土は褐灰色シルトで、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-15:調査区北東側に位置する。南東側のSP-16によって切られている。径14cmの円形の掘り形をもつ。深さは15cmを測る。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-16:調査区北東側に位置する。北西側のSP-15を切っている。南東側は調査区壁に接している。径14cmの円形の掘り形をもつ。深さは18cmを測る。埋土は褐灰色シルトで、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-17:調査区中央東よりに位置する。径27cmの円形の掘り形をもつ。深さは25cmを測る。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-18:調査区南側中央に位置する。径28~34cmのいびつな円形の掘り形をもつ。深さは18cmを測る。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-19:調査区南東側に位置する。径21cmの円形の掘り形をもつ。深さは13cmを測る。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-20：調査区南東側に位置する。径19cmの円形の掘り形をもつ。深さは13cmを測る。埋土は褐灰色シルトで、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-21：調査区南側に位置する。東側のSK-01を切っている。西側は擾乱によって切られている。径25cmの円形の掘り形をもつ。深さは14cmを測る。埋土は灰黄褐色砂質土で、出土遺物はないが中世期の遺構である。

SP-22：調査区南端に位置する。北側のSK-01を切っている。南側は調査区壁に接している。検出した最大径64cmを測り、全体形状は検出していないが円形の掘り形をもつと考えられる。深さは30cmを測る。Ⅲ層上面から掘り込まれた遺構で、埋土は基本層序Ⅱ層と同じ灰黄色砂質土で、出土遺物はないが近世以降の遺構と考えられる。

4.まとめ

本調査区で出土した遺構（土壤1基・小穴22基）は、

いずれも出土遺物はなかったものの、埋土の状態から弥生時代～古墳時代の遺構（SK-01）と中世段階の遺構（SP-01～21）、そして近世以降の遺構（SP-22）に大別できる。中世段階で擾乱されたと考えられるⅢ層上位部で出土した中世土師皿は、中世期の小穴群と関連する可能性が高い。

縄文土器の細片を含むⅣ-1～3層下位で検出された堆積層IV-4～9層は、出土遺物が無く、時期を特定することはできないが、流水に伴う堆積層と考えられ、流向が北に向いた河成堆積層の一部である。図13は外山秀一氏が作成したⅣ層上面の微起伏復元図である。これによると南北に延びる谷状地形の凹部に本調査区が含まれることがわかる。本調査区で確認できた河成堆積層は、復元図の谷状地形に沿って、北流する旧河道の一部であり、西側へ流れる旧河道①へと合流する可能性が高い。

（柴田）

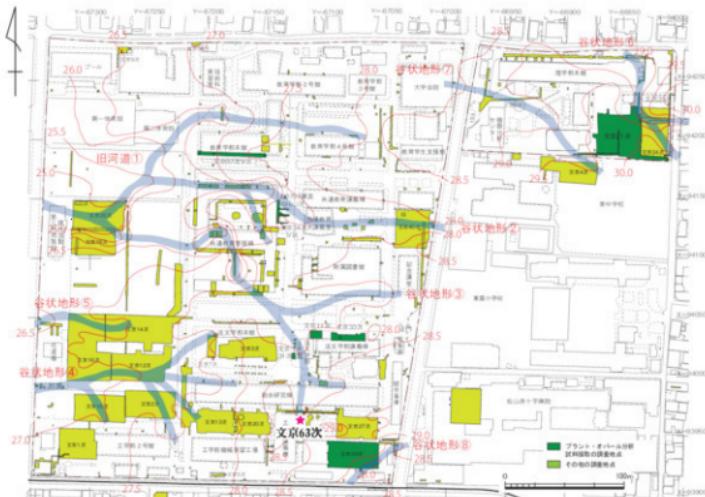


図13 文京遺跡におけるIV層上面の微起伏復元（外山秀一氏作成。縮尺1/4,500。愛大報告XXVI-3より引用）



写真38 文京遺跡63次調査 管路検出状況(南から)



写真39 文京遺跡63次調査 管路検出状況(北から)



写真40 文京遺跡63次調査 遺構検出状況(南から)



写真41 文京遺跡63次調査 遺構検出状況近景(西北から)

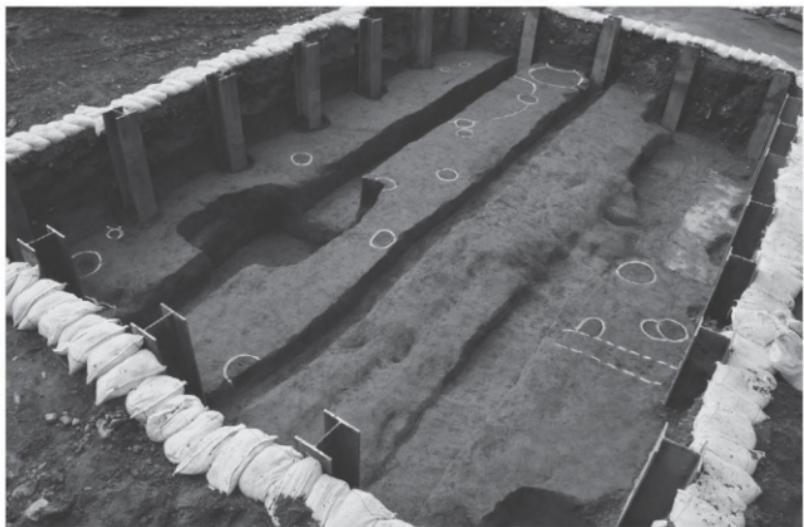


写真42 文京遺跡63次調査 遺構検出状況(北西から)

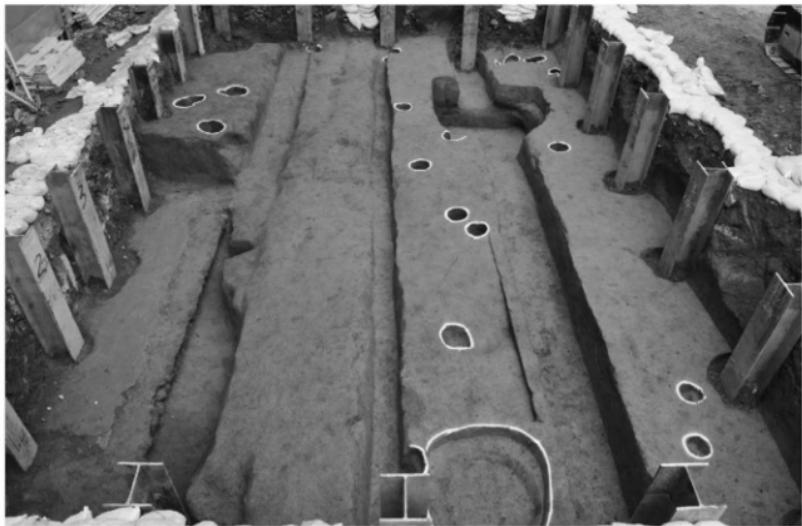


写真 43 文京遺跡 63 次調査 遺構完掘状況（南から）



写真 44 文京遺跡 63 次調査 遺構完掘状況（北から）



写真 45 文京遺跡 63次調査 調査区南側遺構完掘状況（北西から）

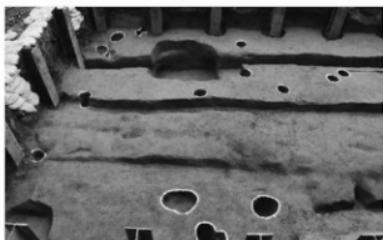


写真 46 文京遺跡 63次調査 調査区北側遺構完掘状況（西から）

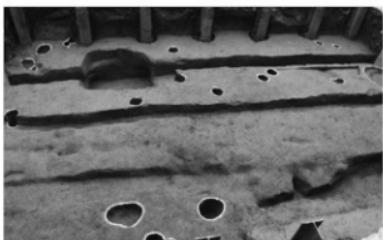


写真 47 文京遺跡 63次調査 調査区中央遺構完掘状況（西から）

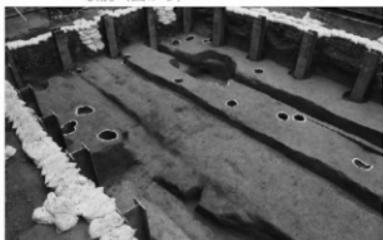


写真 48 文京遺跡 63次調査 調査区北側遺構完掘状況（南西から）



写真 49 文京遺跡 63次調査 調査区南側遺構完掘状況（南西から）



写真 50 文京遺跡 63 次調査 調査区東壁断面 a-b ライン（北西から）



写真 51 文京遺跡 63 次調査 調査区東壁断面 a-b ライン（西から）



写真 52 文京遺跡 63 次調査 調査区南壁断面 c-d ライン（南西から）



写真 53 文京遺跡 63 次調査 調査区南壁断面 c-d ライン（北から）



写真 54 文京遺跡 63 次調査 断面 e-f ライン（南東から）



写真 55 文京遺跡 63 次調査 断面 e-f ライン（北東から）



写真 56 文京遺跡 63 次調査 断面 g-h ライン（南東から）



写真 57 文京遺跡 63 次調査 断面 g-h ライン（南から）



写真 58 文京遺跡 63 次調査 断面 g-h ライン深掘り（南から）



写真 59 文京遺跡 63 次調査 断面 i-j ライン（南から）



写真 60 文京遺跡 63 次調査 断面 i-j ライン（南東から）

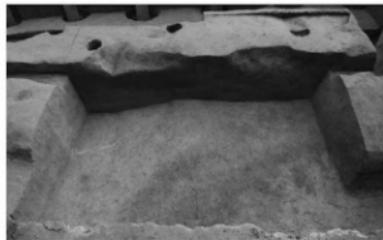


写真 61 文京遺跡 63 次調査 調査区南側 IV層下位 掘出状況（西から）



写真 62 文京遺跡 63 次調査 調査区南側 IV層下位 深掘り状況（北から）



写真 63 文京遺跡 63 次調査 調査区南側 IV層下位深掘り状況（南から）



写真 64 文京遺跡 63 次調査 IV層下位堆積状況（北から）



写真65 文京遺跡63次調査 調査区南側IV層下位深掘り状況（西から）



写真66 文京遺跡63次調査 遺構掘削状況（北西より）



写真67 文京遺跡63次調査 IV層確認作業（北東から）



写真68 文京遺跡63次調査 IV層掘削作業（南より）



写真69 文京遺跡63次調査 IV層掘削作業（北西より）



写真 70 文京遺跡 63次調査 IV層掘削作業(北より)



写真 71 文京遺跡 63次調査 IV層下位部掘削作業(北西より)

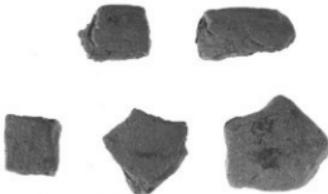


写真 72 文京遺跡 63次調査 III層出土遺物



写真 73 文京遺跡 63次調査 IV-1層出土遺物

01510 (樽味団地) 農学部西側通用門改修その他工事に伴う立会調査

調査地点 松山市樽味3丁目118番1 樽味団地内

調査面積 29.1m²

調査期間 2016年2月4日

調査種別 工事立会

調査担当 三吉秀充

依頼文書 施設基盤部長発事務連絡

(平成28(2016)年1月27日付)

1. 調査に至る経緯

2015年10月、施設基盤部から農学部西側通用門周辺における改修工事計画(01511調査)に伴い、工事地点の埋蔵文化財の有無について照会があった。さらに、周辺の植栽の伐根作業が必要であるとの連絡が2016年1月下旬にあった。埋蔵文化財調査室では、拔根作業については、埋蔵文化財への影響が予想され、立会調査を実施することとした。

2. 調査の記録

樽味団地北西部の敷地西端部に沿った地点にある高木3本の伐根作業地点について、調査を実施すること

とした。調査は南から北へ1トレンチ、2トレンチ、3トレンチとした(図14)。

1トレンチ(写真74・75)

伐根に伴って現地表下50cmまで掘り下げ、表土層であるI層が続いていることを確認した。

2トレンチ(写真76・77)

伐根に伴って現地表下50cmまで掘り下げ、根の下に水道管が布設され、表土層であるI層が続いていることを確認した。

3トレンチ

水道管が破損したため、3トレンチ伐根作業後、早急に埋め戻す必要があり、層位の確認をしていない。2月下旬に同一地点を01511調査8トレンチとして立会調査を行い、抜根部がI層内に含まれていることを確認した。

3.まとめ

立会調査では、伐根に伴う掘り下げ範囲が、樽味団地内基本層序I層内におさまっており、埋蔵文化財への影響がないことが判明した。
(三吉)

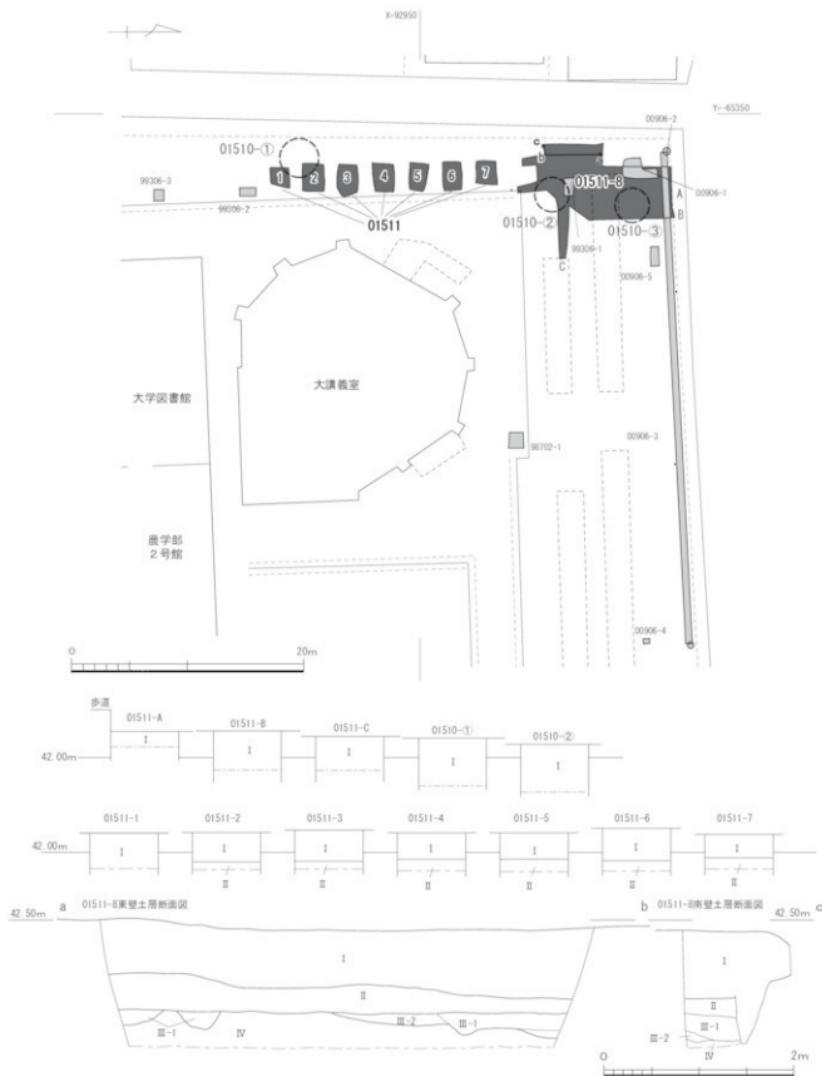


図 14 01510・01511 調査平面図（縮尺 1/400）・土層断面図（縮尺 1/50）



写真 74 01510 調査 1 トレンチ (北東から)



写真 75 01510 調査 1 トレンチ抜根状況 (東から)



写真 76 01510 調査 2 トレンチ (北東から)



写真 77 01510 調査 2 トレンチ抜根状況 (北東から)

01511 (樽味団地) 農学部西側通用門改修その他工事に伴う立会調査

調査地点 松山市樽味3丁目118番1 樽味団地内

調査面積 112.9m²

調査期間 2016年2月12日、2月29日

調査種別 工事立会

調査担当 三吉秀充

調査補助 宮崎直栄・加島なおみ

依頼文書 施設基盤部長発事務連絡

(平成27(2015)年10月16日付)

1. 調査に至る経緯

2015年10月、施設基盤部から農学部西側通用門周辺における改修工事に伴い、工事地点での埋蔵文化財の有無について照会があった。施設基盤部は、埋蔵文化財調査室を作成した意見書を添付し、10月23日付で松山市教育委員会を通じて土木工事等届出書を愛媛県教育委員会へ提出した。平成27年10月30日付で、愛媛県教育委員会より再掘削範囲を除く工事範囲全域

について工事立会を行うこととの指示があった。これを受けて2月12日と2月29日に工事立会を実施した。

2. 調査の記録

駐輪場屋根基礎工事部分を南から1～7トレンチとし、その他を8トレンチとした(図14、写真78)。

1トレンチでは、旧地表面から40cm掘り下げ、表土層であるI層が続いている(写真79)。

2トレンチ～7トレンチでは、旧地表面から40cm掘り下げ、I・II層が続いている(写真80～85)。

8トレンチは、西側の橋脚基礎部分を除くと、北側では40cmまで、東側では現地表下から35cmまで掘り下げI層が続いていることを確認した。橋脚基礎部分は旧地表面から95cmまでの掘削を行い、既存の掘削範囲内に含まれていることを確認した。今回の調査では埋蔵文化財への影響がなかったが、東壁および南壁で土層を観察できた。II層の直下で明黄褐色シルトのIV層を検出した。IV層上面において窪み状の落ち込み

にⅢ-1層とⅢ-2層が堆積していた。Ⅲ-1層は黒色砂質シルト、Ⅲ-2層は黄灰色シルトである。Ⅲ-1層とⅢ-2層は、Ⅳ層との境界が不明瞭で、凹凸が不定形であることから、周辺の調査で確認されている風倒木痕跡の可能性が高い（写真86～93）。



写真78 01511調査1～7トレンチ全景(南東から)

3. まとめ

本立会調査では、いずれの調査地点でも樽味団地内基本層序Ⅰ層、Ⅱ層内におさまっており、工事に伴う掘削が埋蔵文化財に影響がないことが判明した。

（三吉）



写真79 01511調査1トレンチ(東から)



写真80 01511調査2トレンチ(東から)



写真81 01511調査3トレンチ(東から)



写真82 01511調査4トレンチ(東から)



写真83 01511調査5トレンチ(東から)



写真 84 01511 調査 6 トレンチ（東から）



写真 85 01511 調査 7 トレンチ（東から）



写真 86 01511 調査 8 トレンチ（西から）



写真 87 01511 調査 8 トレンチ（南から）



写真 88 01511 調査 8 トレンチ（南西から）



写真 89 01511 調査 8 トレンチ（北西から）



写真 90 01511 調査 8 トレンチ AB 地点（南から）



写真 91 01511 調査 8 トレンチ C 地点（西から）



写真 92 01511 調査8 トレンチC地点 (南から)



写真 93 01511 調査8 トレンチ南西地点 (東から)

01512 (城北団地) 第2体育館自販機設置工事に伴う立会調査

調査地点 松山市文京町3番 城北団地内

調査面積 4m²

調査期間 2016年2月29日

調査種別 工事立会

調査担当 三吉秀充

依頼文書 施設基盤部長発事務連絡

(平成27(2015)年4月14日付)

1. 調査に至る経緯

2015年4月、施設基盤部から第2体育館に自動販売機を設置する計画があり、それに伴う配管工事箇所の埋蔵文化財の有無について照会があった。埋蔵文化財調査室では意見書を作成し、4月21日付で土木工事等届出書を、松山市教育員会を通じて愛媛県教育委員会へ提出した。これに対して愛媛県教育委員会より平成27年5月11日付で、工事範囲全域について、工事立会を行うこととの指示があった。工事立会は2016年2月29日に実施した。

2. 調査の記録

調査は重機を用いて現地表下40cmまで掘り下げた(図4、写真94~96)。掘り下げ停止面ならびに土層の観察では、文京遺跡基本層序1層内におさまっていることを確認できた。

3.まとめ

本立会調査の結果、工事に伴う掘削が埋蔵文化財に影響しないことを判明した。
(三吉)



写真 94 01512 調査地点全景 (北東から)



写真 95 01512 調査地点 (北から)



写真 96 01512 調査地点掘削状況 (北東から)

01513 （城北団地）機械系共同実験室 101-a 給水管修繕工事に伴う 立会調査

調査地点 松山市文京町3番 城北団地内
調査面積 0.92m²
調査期間 2016年2月29日
調査種別 工事立会
調査担当 三吉秀充
依頼文書 施設基盤部長発事務連絡
(平成27(2015)年12月1日付)

通じて愛媛県教育委員会へ提出した。平成28年1月6日付で愛媛県教育委員会より、工事範囲全域について、工事立会を行うこととの指示があった。これを受けて2月29日に工事立会を実施した。

2. 調査の記録

調査は重機を用いて調査区北部で現地表下45cmまで、南部で現地表下43cmまで掘り下げた。掘り下げ停止面ならびに土層の観察では、文京遺跡基本層序I層内におさまっていることを確認できた（図15、写真97～100）。

3. まとめ

本立会調査の結果、工事に伴う掘削が埋蔵文化財に影響しないことを判明した。
(三吉)

1. 調査に至る経緯

2015年12月、施設基盤部から機械系共同実験室101-aの給水管修繕工事計画に伴い、工事地点の埋蔵文化財の有無について照会があった。施設基盤部は、埋蔵文化財調査室が作成した意見書を添付し、12月18日付けで土木工事等届出書を、松山市教育委員会を



写真 97 01513 調査地点 (北東から)



写真 98 01513 調査地点全景 (北東から)



写真 99 01513 調査地点北部掘削状況 (西から)



写真 100 01513 調査地点南部掘削状況 (北から)

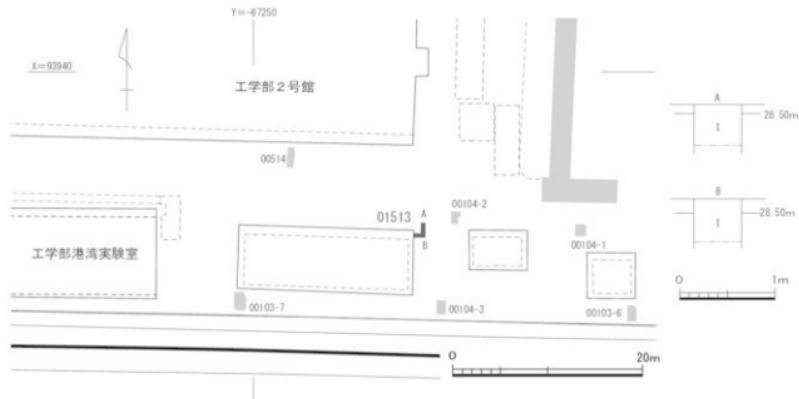


図 15 01513 調査地点位置図（縮尺 1/500）・土層断面図（縮尺 1/50）

01514（津田山団地）プレハブ倉庫取設工事・プレハブ倉庫電源取設工事に伴う立会調査

調査地点 松山市北斎院町津田山 津田山団地内

調査面積 42m²

調査期間 2016年3月1日

調査種別 工事立会

調査担当 柴田昌見・三吉秀光

依頼文書 施設基盤部長發事務連絡

（平成28（2016）年1月22日付）

1. 調査に至る経緯

2016年1月、施設基盤部から津田山団地においてプレハブ倉庫設置計画に伴い、工事地点の埋蔵文化財の有無について照会があった。津田山団地は、周知の埋蔵文化財包蔵地に位置づけられていないが、北側の丘陵部には、弥生・古墳・中世の散布地である「弁天山古墳群・剣崎遺物包含地」、南側の丘陵部には弥生・中世の散布地である「南斎院遺跡」が広がっている。こうした周辺の遺跡の分布から、当該地にも遺跡の存在が想定でき、愛媛県教育委員会・松山市教育委員会から主体的な確認調査や諸工事に伴う工事立会の実施

が求められている。

また、津田山団地内では、野外施設（東屋）設置に伴う試掘調査（99411調査）を実施しているだけで、埋蔵文化財に関するデータが少ないことから、工事立会を実施することとした。

2. 調査の記録

工事は新設プレハブ倉庫取設工事と倉庫電源取設工事部分とからなり、調査は新設プレハブ倉庫取設地点で実施した。調査は重機を用いて55～60cmまで掘り下げ、表土層が続いていることを確認した（図16、写真101～104）。

3.まとめ

工事に伴って実施した本調査では、埋蔵文化財への影響がないことを確認した。団地周辺の地形環境から、本調査地点は谷部中央に位置している。本調査では遺跡に伴う資料を確認できなかったが、丘陵部に近い地点では、埋蔵文化財が残されている可能性も残している。今後も調査地点周辺で掘削を作った工事を行う際には調査が必要である。

（三吉）



図 16 01514 調査 津田山団地調査地点位置図（縮尺 1/1,500）・土層断面図（縮尺 1/50）



写真 101 01514 調査地点（東から）



写真 102 01514 調査地点（南から）



写真 103 01514 調査 A 地点土層断面（南から）



写真 104 01514 調査 B 地点土層断面（北西から）

01515（城北団地）社会共創学部外部サイン取設工事に伴う立会調査

調査地点 松山市文京町3番 城北団地内

調査面積 624m²

調査期間 2016年3月22日

調査種別 工事立会

調査担当 柴田昌見・三吉秀充

依頼文書 施設基盤部長発事務連絡

（平成28（2016）年1月19日付）

1. 調査に至る経緯

2016年1月、施設基盤部から4月に設置される社会共創学部の外部サイン取設工事計画に伴い、工事地点の埋蔵文化財の有無について照会があった。施設基盤部は、埋蔵文化財調査室が作成した意見書を添付し、1月22日付けで土木工事等届出書を、松山市教育委員会を通じて愛媛県教育委員会へ提出した。これに対して愛媛県教育委員会より平成28年2月8日付で、工事範囲全般について、工事立会を行うこととの指示があった。これを受けて3月22日に工事立会を実施した。

2. 調査の記録

工事では調査区の外部サインを設置する東端部で現

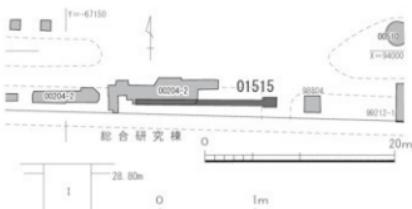


図 17 01515 調査地点位置図（縮尺 1/500）・
土層断面図（縮尺 1/50）

地表下40cmまで、その他は電気配管設置に伴って現地表下49cmまで掘削する予定であった。調査は調査区東端部を重機で現地表下60cmまで掘り下げ、文京遺跡基本層序I層が続いていることを確認した。（図17、写真105・106）。

3. まとめ

本立会調査の結果、工事に伴う掘削が埋蔵文化財に影響しないことが判明した。
(三吉)



写真 105 01515 調査地点（東から）



写真 106 01515 調査地点掘削状況（西から）

III 教員の教育・研究・社会貢献活動

埋蔵文化財調査室専任教員の2015年度の活動実績は以下のとおりである。

室長 田崎博之 教授

1. 教育活動

- 学 部：考古学入門（共通教育）、考古学概論（学部専門教育）、地域フィールド実践演習Ⅰ（学部専門教育）
大学院：埋蔵文化財論題研究、埋蔵文化財特論、人間文化研究演習

2. 研究活動

- 1) 科学研究費・寄付金
 - ・挑戦的萌芽研究『農耕空間の認識と認定要件の実証的研究』（研究代表者）
 - ・基盤研究（B）『長江下流域における基盤整備型水田の成立期に関する学際的研究』（分担研究者）
 - ・新学術領域研究（研究領域提案型）『稲作と中国文明－総合稲作文明学の新構築－』（計画研究班A-04、分担研究者）
- 2) 論文
 - ・「良渚遺跡群における環境変遷と水田探査」宇田津徹朗 編『長江下流域における基盤整備型水田の成立期に関する学際的研究』平成24年度～平成27年度科学研究費補助金（基盤研究（B）国際学術調査）成果報告書、65～86頁
 - ・「「台付甕」と「透かしをもつ器台」をめぐる東からの視点」「有明海とその周辺をめぐる弥生時代の交流」長崎県考古学会・九州考古学会
 - ・松田順一郎・宇田津徹朗との共著「秋津遺跡第7～3次調査区南部東端における水田遺構構造の検討」「奈良県遺跡調査概報 2014年度～中西遺跡第25次調査～」153～158頁、奈良県立橿原考古学研究所
 - ・書評：木下晴一『古代日本の河川灌漑』『中国水利史研究』第43号
- 3) 学会発表ほか
 - ・「「台付甕」と「透かしをもつ器台」をめぐる東からの視点」「有明海とその周辺をめぐる弥生時代の交流」長崎県考古学会・九州考古学会同大会
 - ・「遺跡堆積物の総合要素と有機残存物の分析からの環境・生業・農耕の復原検討」日本考古学協会第81回総会、帝京大学八王子キャンパス、5月24日、金原正明・岡田憲一・金原正子・金原美奈子・柳原麻子との共同発表
 - ・「東アジアにおける基盤整備型水田の成立期に関する実証的研究（第2報）」日本文化財科学会、第32回大会、7月11日・12日、東京学芸大学、宇田津徹朗・中村慎一・金原正明・小柳美樹・藤原宏志・浦谷綾・李小寧・劉斌・王寧遠・鄭雲飛との共同発表
 - ・「プラント・オパールからのDNA復元」日本文化財科学会第32回大会、7月11日・12日、東京学芸大学、田中克典・宇田津徹朗との共同発表
- 4) フィールドワーク等の活動
 - ・中国・浙江省・良渚遺跡及び田螺山遺跡におけるボーリング探査
 - ・中国・浙江省・良渚遺跡群荀山地区における埋没水田試掘調査
3. 社会的貢献
 - ・松山市文化財保護審議会 委員
 - ・香川県三豊市紫雲出山遺跡調査指導委員会 委員
 - ・愛媛大学人文学会会长

専任教員 柴田昌児 准教授 博士（学術）

1. 教育活動

学 部：えひめ学（共通教育）、考古学概論（学部専門教育）、地域フィールド実践演習Ⅰ（学部専門教育）

2. 研究活動

1) 科学研究費・寄付金

・福武財团瀬戸内海研究助成「瀬戸内海の古代木造船と海上活動に関する基礎的研究」

2) 論文

・「四国北西部における後期弥生土器と古式土師器、そして前期古墳」「前期古墳編年を再考するⅡ」中四国前方後円墳研究会、香川県、237～254頁

・「瀬戸内海における人間活動と木造船」「寒暖流の考古学Ⅲ」、海洋考古学会、名古屋大学、1～18頁

・「発掘された小松の歴史と東アジア」「小松史談」141号、小松史談会、2～16頁

・「松山平野と今治平野の弥生時代遺跡群と臨海性集落」「弥生時代凹線文期（第IV様式）の遺跡形成と環境変動」愛媛大学考古学研究室、11～28頁

・織田浩史との共著「愛南町におけるシシ垣の展開について—柏地区を中心に—」第8回シシ垣サミット、愛媛大学、31～42頁、本文執筆を担当

3) 学会発表ほか

・「愛南町におけるシシ垣の展開について—柏地区を中心に—」第8回シシ垣サミット、12月19日、愛媛大学

・「四国北西部における後期弥生土器と古式土師器、そして前期古墳」中四国前方後円墳研究会、11月28日、香川県

・「瀬戸内海における人間活動と木造船」「寒暖流の考古学Ⅲ」、海洋考古学会、10月3日、名古屋大学

・「松山平野と今治平野の弥生時代遺跡群と臨海性集落」「弥生時代凹線文期（第IV様式）の遺跡形成と環境変動」2月27日・28日、愛媛大学考古学研究室

4) フィールドワーク等の活動

・赤蔵ヶ池東遺跡・猿楽遺跡試掘調査「山稜の弥生遺跡調査事業」（久万高原町教育委員会との共同調査）

3. 社会的貢献

・上島町内遺跡発掘調査事業指導委員会

・古代学研究会地域委員

・第8回シシ垣サミット実行委員長

・学術研究集会海の古墳研究会 副会長

・瀬戸内海考古学研究会 幹事

専任教員 三吉秀充 講師

1. 教育活動

学 部：考古学入門（共通教育）、地域フィールド実践演習Ⅰ（学部専門教育）

2. 研究活動

1) 学会発表ほか

・「文京遺跡60次調査の古土壤について」挑戦の萌芽研究（2014～2015）『農耕空間の認識と認定要件の実証的研究』ワークショップ、10月11日、愛媛大学

・「市場産須恵器の編年」、11月20日、瀬戸内海考古学研究会11月例会

3. 社会的貢献

・伊予市遺跡詳細分布調査委員会委員長

IV 愛媛大学埋蔵文化財調査一覧

愛媛大学の敷地は松山市および愛媛県内の各所に分散し、敷地の総面積は464haに及ぶ。2016年3月末時点での調査は292件を数える（表6）。

城北団地には法文部・教育学部・工学部・社会共創学部が所在する松山市文京町3番と、理学部他が所在する文京町2番5号が文京遺跡として、大学本部が所在する道後橋又10番13号が道後橋又遺跡として周知されている。とくに文京町2番3番に所在する文京遺跡では繩文時代後期から弥生時代・古墳時代を経て近代にいたるまで濃密な遺構・遺物が出土していることで知られている。

こうした文京遺跡は、松山市教育委員会によって包蔵地の見直しが行われ、平成26（2014）年3月24日付で埋蔵文化財包蔵地の範囲が修正された（図18）。

その範囲は既存の文京町2番3番を中心に東西約1120m、南北約500mに及んでいる。埋蔵文化財包蔵地の東側は、愛媛大学理学部敷地を北東端とし、東雲小学校を南東端としている。南側は愛媛大学城北団地南側の伊予鉄道線路を越えて、平和通りに面した民地

部分まで含まれている。北側は松山大学付近で県道187号六軒家石手線に接している。西側は勝山中学校敷地を北西端としている。

上述した埋蔵文化財包蔵地に該当する範囲が、文京遺跡として法的保護の対象となる「周知の埋蔵文化財包蔵地」（文化財保護法第93条及び平成10年9月29日付「庁保記第75号文化庁通知」）であり、建築・土木工事等をおこなう場合は、文化財保護法に定める届出が必要となる。この包蔵地内の発掘調査は、本書で記したように現時点で文京遺跡63次調査まで実施している（表6）。

ただし、今回の埋蔵文化財包蔵地の修正に伴い、文京遺跡内に取り込まれることとなった松山大学構内遺跡と松山北高等学校遺跡は、既存の調査成果の蓄積があることから、文化財保護法に定める発掘調査を実施する際、松山市教育委員会によって各遺跡名を冠して調査次数を継続することになっている。2016年3月時点での松山大学構内遺跡は7次調査、松山北高等学校遺跡では4次調査まで実施されている。（柴田）

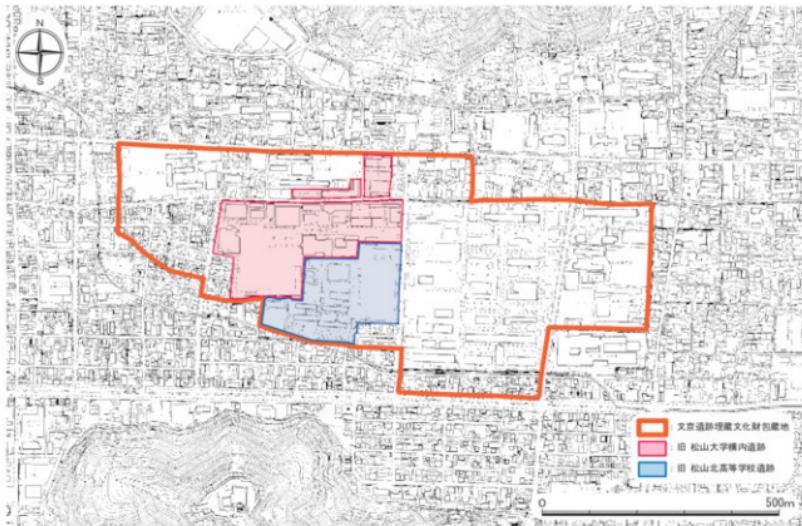


図18 文京遺跡埋蔵文化財包蔵地の範囲（縮尺1/10,000）

表 6 愛媛大学埋蔵文化財調査一覧（2016年12月現在）

調査番号	調査地名	遺跡名	次数	調査の様別	調査機関	該当工事名	発掘期間		調査地点	調査面積 (sqm)	文 稿
							開始年月日	終了年月日			
97501	城北	文京	1次	本格	松山市教育委員会	工学部海浜工学科校舎新築工事	19750801	19750824	全面	750	松山市報11
98001	城北	文京	2次	本格	松山市教育委員会	工学部新施設新築工事	19800708	19800930	全面	600	松山市報28
98101	城北	文京	3次	本格	松山市教育委員会	法文学部校舎新築工事	19820110	19820325	全面	800	松山市報28
98201		文京	4次	本格	松山市教育委員会	松山市東中学校校舎新築工事	19820803	19830826	全面	750	松山市報30
98301	城北	文京		立会	松山市教育委員会	雨水管・雨水管・雨水管埋設				1374	
98302	城北	文京		立会	松山市教育委員会	教育学部校舎建設					
98401	城北	文京	5次	本格	松山市教育委員会	工学部危険物貯蔵庫新築工事	19841026	19841028	全面	18	松山市報28
98601	城北	文京	6次	本格	愛媛大学人類考古学教室	城北田地墓的整理	19860100		全面	99	
98602	城北	文京	7次	本格	愛媛大学人類考古学教室	法文学部校舎新築工事	19860800	19860900	全面	142	
98603	城北	文京	8次	本格	愛媛大学人類考古学教室	城北田地墓的整備事業	19861125	19870218	全面	854	愛媛文報Ⅱ
98604	博塚	種床		試掘		通合貴学研究科校舎新設計画	19870109	—	4+所	5	愛媛文報V
98605	鷹子	鷹子		事前試掘		国際交流会館新設計画	19870116	—	4+所	47	愛媛文報V
98701	鷹子	鷹子	1次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	国際交流会館新築工事	19870720	19870920	全面	962	愛媛文報I
98702	博塚	種床	1次事前試掘			通合貴学研究科校舎新設計画	19870820	19870821	10+所	18	愛媛文報V
98703	博塚	種床		試掘		附属農業高専課外活動施設新設計画	19870820	—	2+所	6	愛媛文報V
98704	博塚	種床	1次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	通合貴学研究科校舎新設工事	19871028	19871217	全面	684	愛媛文報I
98705	城北	文京	9次事前試掘			城北田地づれ跡浄化施設新設計画	19871113	—	3+所	2	愛媛文報V
98706	城北	文京	9次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	城北田地づれ跡浄化施設新築工事	19880111	19880129	全面	62	愛媛文報II
98801	城北	文京	10次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	工学部船橋工学科校舎新築工事	19880619	19890303	全面	1075	愛媛文報II
98802	城北	文京		試掘		城北田地墓単点等設置計画	19881013	—	5+所	5	愛媛文報V
98803	城北	文京		試掘		工学部講義棟高圧ケーブル埋設計画(その1)	19881208	—	2+所	2	愛媛文報V
98804	城北	文京		試掘		工学部講義棟高圧ケーブル埋設計画(その2)	19881212	—	1+所	1	愛媛文報V
98805	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	工学部船橋工学科校舎新設施設建設工事	19890207	—	1+所	6	愛媛文報V
98806	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	工学部船橋工学科校舎新設施設建設工事	19890209	19900210	1+所	3	愛媛文報V
98901	城北	文京	11次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	法文学部講義棟新設工事	19890801	19890829	全面	85	愛媛文報II
98902	城北	文京		立会		道流跡整備の外縁工事	19900303	—	2+所	2	愛媛文報V
99001	城北	文京		試掘		城北田地開墾工事及び教育学部白和半蔵場新設計画	19900806	—	3+所	3	愛媛文報V
99101	博塚	種床	2次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	農芸研究支駄棟新築工事	19920107	19930228	全面	506	愛媛文報V
99102	津田山			試掘		教育学部附属施設学部日常生活訓練施設建設計画	19910608	—	1+所	13	愛媛文報V
99103	城北	文京		試掘		城北田地開墾工事(改修及び外引改修工事計画)	19910821	—	9+所	36	愛媛文報V
99201	博塚	種床		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	農芸研究支駄棟改修工事	19920326	—	2+所	6	愛媛文報V
99202	城北	文京		試掘	愛媛大学埋蔵文化財調査室	城北田地東側開墾改修計画	19920730	—	3+所	3	愛媛文報V

調査番号	団地名	道路名	次数	調査の種別	調査概要	該当工事名	実施期間		調査地点	測定面積(m ²)	文 稿
							開始年月日	終了年月日			
99203	梅塚	梅塚	3次事業	実施	愛媛大学埋蔵文化財調査室 財團法人民間農業学部部分新設工事に伴う電気工事計画	19930826	~	1+所	1	愛大埋文報V	
99204	重松			試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 医学部附属病院病院新設工事(その1)	19930826	~	1+所	3	愛大埋文報V	
99205	山越			確認	愛媛大学埋蔵文化財調査室 1992年度構内道路確認調査(その1)	19920828	~	5+所	57	愛大埋文報V	
99206	梅塚	梅塚	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 農学部附属植物園新設工事(その1)	19930821	~	4+所	3	愛大埋文報V		
99207	梅塚	梅塚	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 農学部附属植物園新設工事(その2)	19930821	~	3+所	2	愛大埋文報V		
99208	城北	文京	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 城北地区外行道橋改良工事	19920826	~	2+所	2	愛大埋文報V		
99209	持田	持田	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 教育学部附属小学校新設設備工事	19920826	~	1+所	11	愛大埋文報V		
99210	重松			試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 医学部附属病院駕場取設計画	19920827	~	5+所	40	愛大埋文報V	
99211	重松			確認	愛媛大学埋蔵文化財調査室 1992年度構内道路確認調査(その2)	19930820	19930121	4+所	546	愛大埋文報V	
99212	城北	文京	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 城北地区消音通信設備工事	19930808	19930309	2+所	118	愛大埋文報V		
99213	重松			試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 医学部附属病院病院新設工事(その2)	19930822	~	1+所	68	愛大埋文報V	
99214	梅塚	梅塚	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 城北地区駕場界隈設置の施工工事	19930823	~	1+所	33	愛大埋文報V		
99215	城北	文京	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 城北地区交通誘導遮断機設置工事	19930824	~	3+所	2	愛大埋文報V		
99301	重松			試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 医学部看護学科新設工計画	19930824	~	1+所	20	愛大埋文報V	
99302	梅塚	梅塚	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 財團法人民間農業学部部分新設(樹木移植)工事	19930824	19930825	2+所	14	愛大埋文報V		
99303	梅塚	梅塚		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 農学部新規野践計画	19930827	~	1+所	808	愛大埋文報V	
99304	梅塚	梅塚	3次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室 財團法人民間農業学部部分新設工事	19930823	19931006	全田	2585	愛大埋文報V	
99305	城北	文京	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 城北地区会館側駕場整備(津木林様)	19931109	~	1+所	2	愛大埋文報V		
99306	梅塚	梅塚		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 財團法人民間農業学部部分新設(外洋設置機)計	19931124	~	3+所	3	愛大埋文報V	
99307	梅塚	梅塚	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 城北地区駕場消音通信設備工事(その1)	19931124	~	1+所	7	愛大埋文報V		
99308	城北	文京	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 城北地区駕場消音通信設備工事(その2)	19931125	~	2+所	79	愛大埋文報V		
99309	持田	持田		確認	愛媛大学埋蔵文化財調査室 1993年度構内道路確認調査(その1)	19931224	19931225	6+所	39	愛大埋文報V	
99310	城北	文京	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 城北地区消音通信設備更換新設工事	19940118	~	1+所	37	愛大埋文報V		
99311	梅塚	梅塚	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 農学部新規野践新設(配水管設置)工事	19940308	19940315	1+所	198	愛大埋文報V		
99312	梅塚	梅塚	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 農学部新規野践排水溝工事	19940308	~	1+所	297	愛大埋文報V		
99313	城北	文京		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 城北地区新規野践(屋外環境)計画	19940209	19940216	6+所	148	愛大埋文報V	
99314	城北	文京		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 工学部研究実験棟新設計画	19940329	~	1+所	379	愛大埋文報V	
99401	北吉井	桑原西橋東	3次	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 東井(北吉井)地場環境整備(駕草場整備、配水管設置)工事(その1)	19940510	19940518	2+所	545	愛大埋文報V	
99402	東長瀬	山越		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 東井(山越)地場環境整備(駕草場整備、配水管設置)工事(その2)	19940517	~	8+所	9	愛大埋文報V	
99403	梅塚	梅塚		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 津木(津木)地場環境整備(駕草場設置)計画	19940524	~	3+所	78	愛大埋文報V	
99404	城北	文京	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 城北地区地場環境整備(津木)新設(配水管設置)	19940607	~	1+所	14	愛大埋文報V		
99405	城北	文京		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 城北地区地場環境整備(津木)新設(配水管設置)	19940608	~	1+所	813	愛大埋文報V	
99406	城北	文京		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 城北地区地場環境整備(津木)新設(配水管設置)	19940610	~	3+所	53	愛大埋文報V	
99407	城北	文京		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 城北地区地場環境整備(津木)及び管路設計)計	19940601	~	2+所	59	愛大埋文報V	

調査番号	調査地名	調査名	次数	調査の種別	調査機関	調査工事名	実施期間		調査地點	調査面積(m ²)	文 稿
							開始年月日	終了年月日			
99408	城北	文京		試掘	愛媛大学埋蔵文化財調査室	城北田地他埋蔵物調(電気配管路取設)計画	19940801	—	1+所	3.2	愛大埋文報V
99409	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	工学部前庭切削試験機設置工事	19940927	—	1+所	1.1	愛大埋文報V
99410	城北	文京	12次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	工学部校舎新設(開)工事	19941110	19960726	全面	1183	愛大埋文報V
99411	津田山			試掘	愛媛大学埋蔵文化財調査室	教育学部附属園芸施設外周壁(東屋)設置計画	19950127	—	1+所	33	愛大埋文報V
99501	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	教育学部運動場内休憩施設工事	19950111	19960412	3+所	48	愛大埋文報III
99502	城北	文京		試掘	愛媛大学埋蔵文化財調査室	教育施設マニスコート(事務局北側)改修計画	19950801	—	4+所	9	愛大埋文報III
99503	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	工学部南側開闢工事	19950801	—	1+所	3	愛大埋文報III
99504	城北	文京		試掘	愛媛大学埋蔵文化財調査室	理学部構内井戸工事計画	19950802	—	2+所	4	愛大埋文報III
99505	山越	山越		試掘	愛媛大学埋蔵文化財調査室	山越田地防護木手取計画	19950802	—	1+所	7	愛大埋文報III
99506	城北	文京	13次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	城北共同研究センター新官工事	19951017	19960412	全面	890	愛大埋文報XII
99507	博吹	博吹		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	公共下水道取設工事	19951114	—	1+所	2	愛大埋文報III
99508	北吉井	桑原西福里		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	北吉井谷地公共下水道設置工事	19951115	—	1+所	16	愛大埋文報III
99509	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	城北田地(北西)通門改修工事	19951116	—	3+所	3	愛大埋文報III
99510	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	埋蔵文化財調査室改修工事	19960131	—	1+所	1	愛大埋文報III
99511	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	城北田地他整備(篠原等)工事	19960213	19960220	3+所	34	愛大埋文報III
99512	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	城北田地事務局改修改修工事	19960311	—	3+所	2	愛大埋文報III
99601	城北	文京	14次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	工学部校舎新設(開)工事	19960520	19970331	全面	1349	愛大埋文報III
99602	城北	文京	15次	鍛造	愛媛大学埋蔵文化財調査室	1996年度内追跡確認調査	19961113	19961209	8+所	2529	愛大埋文報III
99603	博吹	博吹	4次季前試掘		愛媛大学埋蔵文化財調査室	附属農業高等専学校新設計画	19961128	19961212	5+所	217	愛大埋文報III
99604	博吹	博吹	6次季前試掘		愛媛大学埋蔵文化財調査室	附属農業高等専学校新設計画	19961129	—	3+所	51	愛大埋文報III
99605	博吹	博吹		試掘	愛媛大学埋蔵文化財調査室	農学部構内光ケーブル敷設計画	19961129	—	1+所	1	愛大埋文報III
99606	持田	持田		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	教育学部附属中学校ブーム改修その他工事	19970304	—	2+所	3.6	愛大埋文報III
99701	城北	文京	16A次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	工学部校舎新設官能工事(その1)	19970428	19971222	全面	1384	愛大埋文報XXVI-3
99702	城北	文京	16B次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	工学部校舎新設官能工事(その2)	19970809	19970729	全面	627	愛大埋文報XXVI-4
99703	博吹	博吹		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	ATM-LAN整備工事	19970414	19970417	—	131	愛大埋文報III
99704	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	事務局内板取換工事	19970804	—	1+所	27	愛大埋文報III
99705	持田	持田		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	持田田地内焼光ケーブル建設工事	19970804	—	3+所	4.5	愛大埋文報III
99706	持田	持田		試掘	愛媛大学埋蔵文化財調査室	持田田地北側開闢改修計画	19970805	19970806	3+所	6.1	愛大埋文報III
99707	博吹	博吹		試掘	愛媛大学埋蔵文化財調査室	博吹(通)附属販賣室 櫻吹(通)附属販賣室 板取換工事	19970806	19970807	8+所	122	愛大埋文報III
99708	博吹	博吹		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	櫻吹(通)附属販賣室 板取換工事	19970807	—	1+所	24	愛大埋文報III
99709	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	工学部校舎新設電気設備工事(その2)	19970818	19970918	10+所	122	愛大埋文報III
99710	北吉井	桑原西福里	4次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	北吉井谷地排水管改修工事	19971008	19971201	全面	1004	愛大埋文報III
99711	北吉井	桑原西福里	5次	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	北吉井谷地排水管改修工事	19971112	19971118	全面	32	愛大埋文報III
99712	博吹	博吹	4次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	農学部附属農業高等専学校新設工事	19971125	19980304	全面	1168	愛大埋文報III

調査番号	団地名	道路名	次数	調査の種別	調査概要	該当工事名	実施期間		調査地点	測定面積(m ²)	文 稿
							開始年月日	終了年月日			
99713	梅床	梅床		試験	愛媛大学附属文化財調査室	財団農業高浜運動場東側防護ネット及び第3構造周フェンス設置工事	1997/12/18	~	4+所	6.1	愛媛文編 X
99714	梅床	梅床		立会	愛媛大学附属文化財調査室	分蘖農芸合併文化財調査に伴う園道整備工事	1998/03/4	1998/03/6	2+所	186.5	愛媛文編 X
99715	城北	文京	17次	確認	愛媛大学附属文化財調査室	1997年度構内道路確認調査	1998/03/2	1998/03/10	3+所	154	愛媛文編 X
99716	梅床	梅床		立会	愛媛大学附属文化財調査室	財団農芸高浜運動場東側防護ネット及び第3構造周フェンス設置工事	1997/01/1	1997/03/2	10+所	212	愛媛文編 X
99717	城北	文京		製造	愛媛大学附属文化財調査室	工学部校舎新設に伴う外表面整備工事	1998/02/7	~			愛媛文編 X
99801	城北	文京		立会	愛媛大学附属文化財調査室	「大正天皇御手植の松」移植工事	1998/11/8	~	2+所	1	愛媛文編 X
99802	城北	文京	18次	本格	愛媛大学附属文化財調査室	総合情報処理センター新設工事	1998/3/25	1999/08/2	全面	1192	愛媛文編 X
99803	城北	文京		立会	愛媛大学附属文化財調査室	工学部本館等事務室改修機械設備工事	1998/3/14	~	1+所	0.7	愛媛文編 X
99804	梅床	梅床	5次	試験	愛媛大学附属文化財調査室	遺伝子実験施設新設子の施工工事計画	1999/03/8	1999/03/9	9+所	218	愛媛文編 X
99805	城北	文京		立会	愛媛大学附属文化財調査室	教育学部2号館廃水処理系床面改修工事	1999/03/11	~	1+所	3	愛媛文編 X
99806	城北	文京		立会	愛媛大学附属文化財調査室	理学部本館廃水処理装置改修工事	1999/03/16	~	1+所	1	愛媛文編 X
99807	梅床	梅床	5次	本格	愛媛大学附属文化財調査室	遺伝子実験施設新設その他の工事	1999/03/16	1999/07/21	全面	979	愛媛文編 X
99808	重信			試験	愛媛大学附属文化財調査室	医学部附属病院病棟建設計画	1999/03/1	1999/04/1	2+所	2.5	愛媛文編 X
99809	城北	文京		立会	愛媛大学附属文化財調査室	学生会館ガラス改修工事	1999/06/3	~		1	愛媛文編 X
99901	城北	文京	19A 次	本格	愛媛大学附属文化財調査室	工学等結合研究実験棟新設電気設備工事(1期)	1999/09/7	1999/09/13	10+所	31	愛媛文編 X
99902	城北	文京	19B 次	本格	愛媛大学附属文化財調査室	工学等結合研究実験棟新設電気設備工事(2期)	1999/12/5	1999/12/7		43	愛媛文編 X
99903	梅床	梅床		立会	愛媛大学附属文化財調査室	農学部附属農業高等学校新設電気・機械設備工事(1期)	1999/09/6	~	1+所	1.4	愛媛文編 X
99904	梅床	梅床		立会	愛媛大学附属文化財調査室	農学部附属農業高等学校新設電気・機械設備工事(2期)	1999/09/25	1999/10/29	10+所	25	愛媛文編 X
99905	梅床	梅床		立会	愛媛大学附属文化財調査室	農学部附属農業高等学校新設電気・機械設備工事(3期)	1999/11/24	1999/11/28	5+所	31	愛媛文編 X
99906	梅床	梅床		立会	愛媛大学附属文化財調査室	農学部附属農業高等学校新設電気・機械設備工事(4期)	2000/03/28	~	1+所	25	愛媛文編 X
99907	城北	文京		立会	愛媛大学附属文化財調査室	「大正天皇御手植の松」移植工事	2000/08/25	~	1+所	20	愛媛文編 X
99908	城北	文京		立会	愛媛大学附属文化財調査室	理工学等結合実験棟新設電気設備工事(その2)	2000/03/1	~	1+所	8	愛媛文編 X
99909	城北	文京		立会	愛媛大学附属文化財調査室	総合情報処理センター新設電気設備工事	2000/03/8	~	4+所	8	愛媛文編 X
99910	城北	文京	20次	本格	愛媛大学附属文化財調査室	サテライト・バンチャード・ジネス・ラボراتリー(S.V.B.L.)新設工事	2000/02/4	2000/06/20	全面	588	愛媛文編 X
99911	城北	文京		試験	愛媛大学附属文化財調査室	大学会館改修工事	2000/02/6	~	4+所	9	愛媛文編 X
99912	城北	文京		立会	愛媛大学附属文化財調査室	城北地区外郭移設工事	2000/02/6	~	1+所	1	愛媛文編 X
99913	梅床	梅床		確認	愛媛大学附属文化財調査室	農学部附属農業高等学校新設工事	2000/03/10	~	1+所	1	愛媛文編 X
99914	城北	文京		立会	愛媛大学附属文化財調査室	附属文化財調査室新設電気設備工事	2000/03/3	~	1+所	19	愛媛文編 X
99915	城北	文京		立会	愛媛大学附属文化財調査室	法文学部講義棟空調設備工事	2000/03/3	~	1+所	1	愛媛文編 X
99916	梅床	梅床		立会	愛媛大学附属文化財調査室	農学部附属農業高等学校新設工事	1999/6/7	~	1+所	~	愛媛文編 X
00001	城北	文京		立会	愛媛大学附属文化財調査室	大学会館改修工事	2000/08/29	2000/09/30	3+所	9	愛媛文編 X
00002	城北	文京		試験	愛媛大学附属文化財調査室	教育学部外廊下改修工事	2000/09/3	~	5+所	22	愛媛文編 X
00003	城北	文京	21次	本格	愛媛大学附属文化財調査室	基礎科社会研究棟新設工事(1期)	2001/01/15	2001/09/9	全面	1644	愛媛文編 X
00004	山越	山越		立会	愛媛大学附属文化財調査室	山越施設の屋上水管改修工事	2001/01/5	~	2+所	7	愛媛文編 X

調査番号	調査地名	調査名	次数	調査の種別	調査機関	調査工事名	実施期間		調査地點	調査面積(m ²)	文 稿
							開始年月日	終了年月日			
00005	城北	文京	22次	確認	愛媛大学埋蔵文化財調査室	2000年度地盤調査確認調査	2001/01/23	2001/01/24	1+所	33	愛媛文報X
00006	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	教育学部グライニスコート改修工事	2001/01/23	2001/01/24	4+所	1	愛媛文報X
00007	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	法文学部西校舎設置工事	2001/03/15	-	3+所	5	愛媛文報X
00008	御幸			立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	御幸田地外設施改修その他工事	2001/03/06	-	4+所	3	愛媛文報X
00101	城北	文京			愛媛大学埋蔵文化財調査室	同上会議会場による五重松移植工事	2001/05/09	-	1+所	3	愛媛文報X-1
00102	博庵	博庵	6次	次第調査試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室	農学部附属植物新官計画	2001/06/07	-	2+所	16	愛媛文報X-1
00103	城北	文京	23次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	四阿能力による城北田地内河川護岸工事	2001/06/26	2001/07/09	12+所	725	愛媛文報X-15
00104	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	工学部外周給水槽設置工事	2001/08/01	-	3+所	0.6	愛媛文報X-1
00105	城北	文京	24次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	組合研究棟新官(官邸)工事	2001/10/01	2002/03/26	全面	640	愛媛文報X-1
00106	博庵	博庵	6次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	農学部行管物新官工事	2001/11/15	2002/03/06	全面	1205	愛媛文報X-15
00107	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	事務局構内外設施改修工事	2001/11/21	2001/11/27	2+所	6	愛媛文報X-1
00108	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	農学部4号館附加改修気配設置工事	2002/03/26	-	1+所	15	愛媛文報X-1
00201	博庵	博庵	7次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	農学部2号館改修工事	2002/04/03	2003/05/23	5+所	170	愛媛文報X-15
00202	城北	文京	25次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	情報教育棟新官工事	2002/06/01	2002/12/18	全面	1022	愛媛文報X-1
00203	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	情報教育棟用地埋蔵文化財調査(川原土木工事)	2002/06/15	2003/05/17	1+所	1	愛媛文報X-1
00204	城北	文京	26次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	組合研究棟等改修工事	2002/07/19	2003/08/09	5+所	1447	愛媛文報X-1
00205	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	組合研究棟改修電気設備工事	2002/10/21	-	1+所	3	愛媛文報X-1
00206	城北	文京		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室	情報教育棟-牧大付属研究室センター新官その他の工事(計画)(その2)	2002/11/27	-	1+所	65	愛媛文報X-1
00207	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	組合研究棟等電気設備工事	2002/11/29	-	1+所	15	愛媛文報X-1
00208	山越	山越		確認	愛媛大学埋蔵文化財調査室	2002年度内進路跡確認調査	2002/12/25	2002/12/26	8+所	65	愛媛文報X-1
00209	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	組合研究棟新官5C機械設備工事	2003/01/23	2003/01/29	6+所	226	愛媛文報X-1
00210	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	組合研究棟新官電気設備工事	2003/01/15	-	1+所	13	愛媛文報X-1
00211	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	組合研究棟等改修電気設備工事	2003/03/03	2003/03/04	2+所	19	愛媛文報X-1
00301	城北	文京	27次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	組合研究室改修新官工事	2003/05/29	2003/10/24	全面	703	愛媛文報X-1
00302	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	組合研究室改修新官工事(川原土木工事)	2003/05/27	-	3+所	39	愛媛文報X-1
00303	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	既述大学愛媛学部セミナー改設工事	2003/09/05	-		31	愛媛文報X-1
00304	城北	文京	28次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	理学部組合研究棟改修工事	2003/12/01	2003/12/16	9+所	451	愛媛文報X-1
00305	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	安全衛生管理対策(実験棟等改修)工事	2004/02/09	2004/02/10	8+所	12	愛媛文報X-1
00306	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	安全衛生管理対策(現用保管庫改修)電気設備工事	2004/03/04	2004/03/05	2+所	14	愛媛文報X-1
00307	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	安全衛生管理対策(実験棟等改修)工事	2004/03/04	-	1+所	26	愛媛文報X-1
00401	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	事務局敷地内看板基礎工事	2004/07/16	-	1+所	25	愛媛文報X-1
00402	博庵・城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	避難構造物撤去工事	2005/01/24	2005/01/31	2+所	26	愛媛文報X-1
00403	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	工学部講義棟改修新官気配設備工事	2005/03/01	-	1+所	87	愛媛文報X-1
00404	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	新官福岡講義棟新官気配・機械設備工事	2005/03/24	2005/03/29	2+所	35	愛媛文報X-1

調査番号	団地名	道路名	次数	調査の種別	調査概要	該当工事名	実施期間		調査地点	測定面積 (m ²)	文 稿
							開始年月日	終了年月日			
00405	御幸			立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 御幸地区古物類取扱工事	20050223			6+所	2	愛媛文板 X.V
00501	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 生物発掘試料ハンケ改修工事	20050621	20050702	1+所	28.5	愛媛文板 X.V	
00502	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 城北地区墓葬整備(築造等)工事	20050824	20050826	4+所	38.6	愛媛文板 X.V	
00503	城北	文京		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 共通教育講義埋蔵遺物設備設置工事	20050824	20050825	1+所	12.4	愛媛文板 X.V	
00504	東長江	山越		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 東長江地区内堀町改修工事	20050931		1+所	0.3	愛媛文板 X.V	
00505	東長江	山越		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 東長江地区内堀町改修工事	20050928		1+所	0.25	愛媛文板 X.V	
00506	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 事務局構内施設建替工事(その1)	20051104		2+所	0.9	愛媛文板 X.V	
00507	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 事務局構内施設建替工事(その2)	20051114		1+所	0.3	愛媛文板 X.V	
00508	城北	文京		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 法文字部屋相手脚輪施設計画	20051115		4+所	9.8	愛媛文板 X.V	
00509	博味	博味		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 農学部附属農業高専埋蔵系施設修理工事	20051221		1+所	7.8	愛媛文板 X.V	
00510	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 法文字部講義棧橋周辺施設整備(引手木構等)工事	20060330		1+所	3.2	愛媛文板 X.V	
00511	重信			試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 法字部附属病院院内保管所設置計画	20060307		2+所	5	愛媛文板 X.V	
00512	城北	文京		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 法文字部講義棧橋周辺施設整備計画	20060321		3+所	4.3	愛媛文板 X.V	
00513	城北	文京		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 教育学部2号館等内蔵設備電気工事	20060328		2+所	2.7	愛媛文板 X.V	
00514	城北	文京		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 工学部2号館2階女子厕所改修電気設備工事	20060328		1+所	1.5	愛媛文板 X.V	
00515	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 法文字部屋相手脚輪施設設置工事	20060302	20060303	2+所	24.2	愛媛文板 X.V	
00601	持田	持田	1次	決算審 試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 教育学部附属中学校校舎新設工事	20060403	20060407	9+所	46.5	愛媛文板 X.V	
00602	博味	博味		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 農学部上水道漏れ跡工事	20060513		1+所	0.5	愛媛文板 X.V	
00603	博味	博味		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 農学部敷地内の電柱建て替え工事	20060621		2+所	0.7	愛媛文板 X.V	
00604	持田	持田附属 機内	1次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室 教育学部附属中学校校舎新設工事	20060623	20060929	2+所	292	愛媛文板 X.V	
00605	雄寺			試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 (雄寺)附属農業高専新設新官工事	20060929		2+所	35	愛媛文板 X.V	
00606	雄寺			確認	愛媛大学埋蔵文化財調査室 (雄寺)附属農業高専新設新官工事	20060929			2759	愛媛文板 X.V	
00607	重信			立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 法字部及び附属病院敷地内の電柱建て替え工事	20061109	20061110	7+所	18	愛媛文板 X.V	
00608	博味	博味	8次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室 (博味)総合研究棟改修工事	20061204	20070126	5+所	42	愛媛文板 X.V	
00609	博味	博味		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 農学部附属農業高専(ア)新設工事	20061221		1+所	2.9	愛媛文板 X.V	
00610	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 教育学部A号館耐震補強工事	20070126		3+所	12	愛媛文板 X.V	
00611	城北	文京	30次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室 前庭川橋取設施工事	20070305	20070308	2+所	17.7	愛媛文板 X.V	
00612	城北	文京	31次	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 法文字部2号館多層階段設置工事	20070308	20070326	2+所	25	愛媛文板 X.V	
00613	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 屋外施設等設置工事	20070319	20070320	2+所	8	愛媛文板 X.V	
00614	博味	博味		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 博味地区研究棟改修機械設備工事	20070326	20070302	3+所	21.6	愛媛文板 X.V	
00615	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 (理)総合研究棟(理)等改修電気設備工事	20070307		2+所	5.4	愛媛文板 X.V	
00701	城北	文京		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 共通教育講義埋蔵機械設備工事計画	20070427		4+所	9.2	愛媛文板 X.V	
00702	持田	持田	2次審 試験	立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室 教育学部附属小学校本部新築改修工事計画	20070515		3+所	9.4	愛媛文板 X.V	
00703	城北	文京		試験	愛媛大学埋蔵文化財調査室 法文字部講義棧橋改修等の施工計画	20070521		1+所	3	愛媛文板 X.V	

調査番号	調査地名	調査名	次数	調査の種別	調査機関	該当工事名	実施期間		調査地點	調査面積(㎡)	文 稿	
							開始年月日	終了年月日				
01403	柳川	柳川		試掘	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(柳川)附属高校実習室改修工事	20140829			136	愛媛文編 XX IX	
01404	持田	持田	10次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(持田)附属小学校史実習室改修工事(歴史・地理・社会)	20140904	20141006	1	298.8	愛媛文編 XX IX	
01405	城北	文京	59次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(城北)キャバシエ活動施設工事(歴史・地理・社会)	20140828	20150213		2564	愛媛文編 XX IX	
01406	城北	文京	60次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(城北)月島先住会改修工事(城北学園センター・協定会場)	20140909	20141107	5	135	愛媛文編 XX X	
01407	柳川	柳川	14次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(柳川)附属高校実習室改修工事	20141126			1.5	愛媛文編 XX IX	
01408	城北	文京	61次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(城北)モールセンター環境整備工事(エントランスホール・階段モニターフィット移設等追加)	20141208	20141224	1	11208	愛媛文編 XX IX	
01409	柳川	柳川	15次	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(柳川)附属高校実習室改修工事	20150206			4	6.5	愛媛文編 XX IX
01410	柳川	柳川		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(柳川)農業部認定立会工事	20140925			1	3.8	愛媛文編 XX IX
01501	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	教育学部附属池田洋介設計修改工事	20150602			1	1	愛媛文編 XX IX
01502	持田	持田		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(持田)附属幼稚園園舎リノベ工事	20150612			1	409	本書
01503	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	調善閣西翼モリキハイ探査	20150628			1	3	本書
01504	持田	持田		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	副庭幼稚園園舎オフィカート池田工事に伴う工事	20150721			1	693	本書
01505	持田	持田		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	副庭幼稚園園舎木造修理工事に伴う工事	20150721	20150724	3	14.16	本書	
01506	持田	持田		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(持田)附属小学校アプローチ取扱工事	20150807			1	10.47	本書
01507	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛大ミレージ東側ヨリ佐藤業務	20150912	20151004	2	127	本書	
01508	城北	文京	62	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(城北)城北学園事務センター前面土塁新設工事	20150928	20150930	2	5.27	本書	
01509	城北	文京	63	本格	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(城北)工部講義棟東側駐車場整備工事	20151228	20160127	1	702	本書	
01510	柳川	柳川		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(柳川)農字町西側通用門改修工事	20160304			3	291	本書
01511	柳川	柳川		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(柳川)農字町西側通用門改修工事	20160312	20160329	9	1129	本書	
01512	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(城北)第2体育館白柏設置工事に伴う工事	20160329			1	4	本書
01513	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	鶴岡系糞同実験草刈田(前木質修繕工事に伴う工事)	20160329			1	692	本書
01514	津田山			立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	津田山里原(ハリバツササ根)立木津田山里原(ハリバツササ根)修繕工事	20160301			1	42	本書
01515	城北	文京		立会	愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学(城北)社会教諭室外部サイド取扱工事	20160322			1	621	本書

関連文献一覧

- 松山市文化財調査報告書 11 「文京遺跡」 1976
- 松山市文化財調査報告書 28 「文京遺跡 - 第 2・3・5 次調査 - 」 1992
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 I 「鷹子・樽味遺跡の調査」 1989
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 II 「文京遺跡第 8・9・11 次調査」 1990
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 III 「文京遺跡第 10 次調査」 1991
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 IV 「樽味遺跡 II - 樽味遺跡 2 次調査報告 - 」 1993
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 V 「愛媛大学構内遺跡調査集報 I - 1987 ~ 1994 年度における立会・試掘確認調査成果の報告 - 」 1997
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 VI 「樽味遺跡 III - 樽味遺跡 3 次調査報告 - 」 1997
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 VII 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 1995・1996 年度 - 」 2001
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 VIII 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 1997・1998 年度 - 」 2002
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 IX 「樽味遺跡 IV - 樽味遺跡 4 次調査・樽味遺跡 5 次調査・桑原西稲葉遺跡 3 ~ 5 次（北吉井団地）調査 - 」 2003
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 X 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 1999・2000 年度 - 」 2003
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XI 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 2001・2002 年度 - 」 2004
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XII 「文京遺跡 III - 文京遺跡 13 次調査報告 - 」 2004
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XIII 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 2003 年度 - 」 2005
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XIV 「文京遺跡 IV - 文京遺跡 20 次調査・文京遺跡 23 次調査 - 」 2005
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XV 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 2004 年度 - 」 2006
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XVI 「文京遺跡 V - 文京遺跡 18 次調査 - 」 2007
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XVII 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 2005 年度 - 」 2007
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XVIII 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 2006 年度 - 」 2008
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XIX 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 2007 年度 - 」 2009
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XX 「文京遺跡 VI - 文京遺跡 25 次調査 - 」 2009
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XXI 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 2008 年度 - 」 2010
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XXII 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 2009 年度 - 」 2011
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XXIII 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 2010 年度 - 」 2012
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XXIV 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 2011 年度 - 」 2013
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XXV 「樽味遺跡 V - 樽味遺跡 6 ~ 8 次調査報告 - 」 2013
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XXVI-3 「文京遺跡 VII-3 - 文京遺跡 16 次調査 A 区 - 」 2014
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XXVI-4 「文京遺跡 VII-3 - 文京遺跡 16 次調査 B 区 - 」 2014
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XXVII 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 2012 年度 - 」 2014
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XXVIII 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 2013 年度 - 」 2015
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XXIX 「愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 - 2014 年度 - 」 2016
- 愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XXX 「文京遺跡 VIII - 文京遺跡 60 次調査 - 」 2017

報 告 書 抄 錄

ふりがな	えひめだいがくまいぞうぶんかざいちょうさしつねんぽう 2015ねんど						
書名	愛媛大学埋蔵文化財調査室年報 2015年度						
副書名							
巻次							
シリーズ名	愛媛大学埋蔵文化財調査報告						
シリーズ番号	XX XI						
編著者名	田崎博之、柴田昌児、三吉秀充						
編集機関	愛媛大学埋蔵文化財調査室						
所在地	〒790-8577 松山市道後橋又 10番 13号						
発行年月日	2017年3月1日						
所収遺跡名	所在地	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
文京遺跡 62次調査	まつやましぶんきょうちょく 松山市文京町3番	38201	33° 51' 02"	132° 46' 23"	2015.9.28～ 2015.9.30	5.27 m ²	城北事務センター南面上屋 新設工事
文京遺跡 63次調査	まつやましぶんきょうちょく 松山市文京町3番	38201	33° 50' 55"	132° 46' 19"	2015.12.28～ 2016.1.27	70.2 m ²	工学部講義棟東側駐輪場整備 その他の工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項	
文京遺跡 62次調査	集落					現状保存	
文京遺跡 63次調査	集落	縄文時代～中世	土壤1基、小穴22基		縄文土器、中世土師器		

愛媛大学埋蔵文化財調査室年報

—2015年度—

愛媛大学埋蔵文化財調査報告 XXXI

2017年3月1日

発行 愛媛大学先端研究・学術推進機構埋蔵文化財調査室

〒790-8577 松山市道後桶又10番13号

TEL・FAX 089-927-9127

印刷 岡田印刷株式会社

〒790-0012 愛媛県松山市湊町7丁目1-8

TEL 089-941-9111
